永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (小中学生保護者用)

調査ご協力のお願い

日ごろから、町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

近年、永平寺町では、少子化に伴い、地域差はあるものの、少しずつ各学校の小規模化が進んでいます。少子高齢化や高度情報化など、社会情勢の変化が教育環境にもさまざまな影響を及ぼすことが全国的に懸念されている中、町では、将来にわたって質の高い教育を維持するため、「永平寺町学校のあり方検討委員会」を設立し、永平寺町内の小中学校のあり方について、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、の2つの事項を諮問し、答申をまとめていただくこととしました。

このアンケートは、「これからの永平寺町の学校教育がどうあってほしいか」などについて、保護者のみなさまのご意見を広くお聞きし、答申をまとめる際の参考とさせていただくものであり、小中学校の再編を前提に実施するものではございません。

回答はすべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 永平寺町

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査は、小中学生のお子様全員の保護者を対象にお送りしています。
- 2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。
- 3. お子さんが小学生の場合、中学生になられた場合を想定して、 お子さんが中学生の場合、小学生だった頃を思い返して、ご記入ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、 お子様を通じて、それぞれの小中学校へ、2月19日(金)までにご提出ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆ 永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



ご記入者様(あなた)及びお子様についてお聞きします。

あなた(ご記入者様)とお子様の関係、年齢をご記入ください。 問 1

2. 父親 3. その他(1. 母親)

あなた(ご記入者様)の年齢()歳

問2 お子様の通われている小中学校について、あてはまる学校・学年**すべて**に〇をつけてください。

(1年生 1. 松岡小学校 2年生 3年生 4 年生 5年生 6年生)

2. 吉野小学校 (1年生 2 年生 3 年生 4 年生 5年生 6 年生)

3. 御陵小学校 (1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生)

4. 志比小学校 (1年生 2 年生 3年生 4 年生 5年生 6年生)

(1年生 5. 志比南小学校 2 年生 3 年生 4 年牛 5年生 6年生)

6. 志比北小学校 (1 年生 2 年生 3 年生 4年生 5年生 6年生)

(1 年生 2 年生 3 年生 4 年生 7. 上志比小学校 5年生 6年生)

8. 松岡中学校 (1年生 2 年生 3 年生)

9. 永平寺中学校 (1年生 2年生 3年生)

10. 上志比中学校 (1年生 2年生 3年生)

11. 中学校卒業から成人前までの子どもがいる

小学校についてお聞きします。

- 問3 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・ 対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。その他に、保護者として小学校 教育で重要視していることは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。
 - 1. 社会のマナーやルールを身につけること
 - 3. 自己肯定感を高めること
 - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
 - 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケー ション能力を身につけること
 - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
 - 11. どの学年も複数の学級として、クラス替 えができるようにすること
 - 13. ICT 教育*の環境を整備し、プログラミング 教育やオンライン方式の学習などの情報教 育(メディアリテラシー教育*や情報モラル に関する指導を含む)の推進を図ること
 - 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心 強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコ ン環境の整備など)が図られていること

- 2. 確かな学力*を身につけること
- 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
- 6. 他校との交流を深めること
- 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を 身につけること
- 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
- 12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教 育を受けること
- 14. 外国の人との交流を通して多様性を学 び、コミュニケーション力を高めるとと もに、日本の文化のすばらしさについて も理解すること
- を持つこと
- ※確かな学力…知識や技術だけでなく、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動 し、よりよく問題解決する資質や能力のこと
- ※ICT 教育…パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと
- ※メディアリテラシー教育…メディアが発信する情報を読み取り、自分の意見を発信する能力を育む教育のこと

問3-1 問3の項目以外で重要視していることがあれば、ご記入ください。

問4 小学校教育の各項目の満足度について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

項目	大変 満足	やや 満足	普通	やや 不満	大変 不満
①社会のマナーやルールを身につけること	1	2	3	4	5
②確かな学力を身につけること	1	2	3	4	5
③自己肯定感を高めること	1	2	3	4	5
④環境や平和の大切さについて学ぶこと	1	2	3	4	5
⑤自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	1	2	3	4	5
⑥他校との交流を深めること	1	2	3	4	5
⑦集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	1	2	3	4	5
⑧地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に つけること	1	2	3	4	5
⑨地域の方々との交流により豊かな体験がで きること	1	2	3	4	5
⑩慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること	1	2	3	4	5
⑪どの学年も複数の学級として、クラス替えが できるようにすること	1	2	3	4	5
⑩少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を 受けること	1	2	3	4	5
③ICT教育の環境を整備し、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること	1	2	3	4	5
④外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること	1	2	3	4	5
⑤校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化 (新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整 備 など)が図られていること	1	2	3	4	5
⑥人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	1	2	3	4	5

問 4-1 **問 4 の項目以外** で満足、不満に感じていることがあれば、ご記入ください。 【満足に感じていること】

【<u>不満</u>に感じていること】

問5 保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか? あてはまる番号<u>3つ</u>に〇をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む) ※3~8は授業の中で行うことを想定しています。

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
- 8. 地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加してくれること
- 9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし

問 5 一 1	子どもたちが、	地域の特色や課	題について探究し、	学びあうために、	永平寺町
	としてどのような	\$取組が必要か、	アイデアがあれば、	ご記入ください。	

問6 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号**1つ**に〇をつけてください。

※廃校…設置者から廃止の届出があった公立の小中学校のこと

体校…廃止の届出はないものの、児童・生徒が在籍しておらず、学級数が O の公立 の小中学校のこと

- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- 3. 小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- 4. その他の意見

問 6 一 1	問6で「4.	その他の意見」	を選んだ方は、	自由にご意見をご記入ください。	

【小学校別の児童数の将来推計について】

小学校全体

	平原	戊31年	F度	令	和5年	度	令和	110年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112	
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114	
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116	
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117	
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119	
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119	
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697	

永平寺町の小学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では 27%減少することが予想されています。

松岡小学校

	平原	平成31年度 令和5年				度	令和	110年	度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62	
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63	
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63	
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64	
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65	
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65	
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382	

吉野小学校

	平原	戊31年	度	令	和5年	度	令和	110年	度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9	
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9	
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9	
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9	
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9	
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9	
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54	

御陵小学校

	平原	戊31年	F度	令	和5年	度	令和	110年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14	
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14	
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14	
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14	
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15	
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15	
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86	

志比小学校

	平月	戊31年	F度	令	和5年	度	令和	110年	度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9	
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9	
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10	
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10	
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10	
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10	
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58	

志比南小学校

		•											
	平原	戊31年	度	令:	和5年	度	令和	110年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5	
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5	
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5	
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5	
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5	
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5	
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30	

志比北小学校

	平月	戊31年	F度	令	和5年	度	令和	110年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2	
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2	
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2	
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2	
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2	
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2	
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12	

上志比小学校

	平月	戊31年	F度	令:	和5年	度	令和	110年	F度	令和	115年	F度
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75

【推計方法】

住民基本台帳 (平成 31 年 4 月 1 日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している児童がいるため、 平成 31 年度の児童数の実数と推計値には 差があります。 問7 将来的に児童数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、項目ごと にあてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

項目	希望する	やや 希望	どちらで もない	あまり 希望 しない	希望 しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	ω	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど)を相互に活用することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5

問フー1 問フの項目以外で希望することがあれば、ご記。	記入く	゚ださい。
-----------------------------	-----	-------

行う実駅 め、成長 また、 この。	検や実習 長してい スポー ように、	、もっと多 きます。 ·ツにおいて	N活動が重視される るくの人数で行う☆ でも、一定の人数だ らのためによりより ほす。	ディベート学習がいると、体馬	習などを通じ 食できる集団	こ、他者との学で	び合いを深
	学級の児 記入くだ		学年の児童数につい	ハて、あなたた	^ド <u>最低限必</u> 要	<u>₹だと思う人数</u>	を、 <u>それぞ</u>
1学級	最低	()人	1 学年	最低 ()	人
問 8 一 1	その理	!由をご記力	しください。				

現在、国では、公立の小学校を対象に1学級の上限人数を40人から35人とする「少人数学級」の導入の動きが進められています。

既に福井県では、小学校の1学級の上限人数を35人と定め、少人数教育を推進しています。

問 8 一 2	1 学級の児童数・	・1 学年の児童数について、	あなたが <u>適正だと思</u>	<u>う人数</u> を、	<u>それぞれ</u>
	ご記入ください。				

1学級 (\sim)人	1学年	(\sim)人			
問8-3 その理由	をご記入くだる	さい。							
問9 もしも、今、子どもたちが通学している小学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどうしますか。あてはまる番号 <u>1つ</u> に〇をつけてください。 ※ 通学手段は確保されているものとします。									
1. 今まで通り住	み続ける		2. 町内の	の学校の近く	くに転居す	る			
3. 町外の学校の	近くに転居する	3	4. どうす	するかわから	らない				
問9-1 <u>問9について</u> 、自由にご意見をご記入ください。									

中学校についてお聞きします。

- 問 10 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。その他に、保護者として中学校教育で重要視していることは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。
 - 1. 社会のマナーやルールを身につけること
 - 2. 確かな学力を身につけること
 - 3. 自己肯定感を高めること
 - 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
 - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
 - 6. 他校との交流を深めること
 - 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
 - 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身につけること
 - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
 - 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
 - 11. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること
 - 12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること
 - 13. ICT 教育の環境を整備して、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること
 - 14. 外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整備など)が図られていること
- 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと
- 17. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること

甲甲	10 1	関10ヶ位	「日いめで番曲坦	しているこしがなわげ	一句 11 ノ だ ナハ
	10-1	ᆝᄓᆝᆝᅛᅛᄼᄹ	ロタアし里女院	していることがあれば、	こ記入へたさい。

問11 中学校教育の各項目の満足度について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

項目	大変 満足	やや 満足	普通	やや 不満	大変不満
①社会のマナーやルールを身につけること	1	2	3	4	5
②確かな学力を身につけること	1	2	3	4	5
③自己肯定感を高めること	1	2	3	4	5
④環境や平和の大切さについて学ぶこと	1	2	3	4	5
⑤自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	1	2	3	4	5
⑥他校との交流を深めること	1	2	3	4	5
⑦集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	1	2	3	4	5
⑧地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に つけること	1	2	3	4	5
⑨地域の方々との交流により豊かな体験がで きること	1	2	3	4	5
⑩慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること	1	2	3	4	5
⑪どの学年も複数の学級として、クラス替えが できるようにすること	1	2	3	4	5
⑩少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を 受けること	1	2	3	4	5
③ICT教育の環境を整備し、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること	1	2	3	4	5
⑭外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること	1	2	3	4	5
⑤校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化 (新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整 備 など)が図られていること	1	2	3	4	5
⑥人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	1	2	3	4	5
⑪部活動を通して豊かな経験をし、成長すること	1	2	3	4	5

問 11-1 <u>問 11 の項目以外</u>で満足、不満に感じていることがあれば、ご記入ください。 【<u>満足</u>に感じていること】

【不満に感	じて	いる	こと)
-------	----	----	-----

問12 保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか? あてはまる番号3つに〇をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む)

※ 3~8は授業の中で行うことを想定しています。

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
- 8. 地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加してくれること
- 9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし

問 12-	1	子どもた	こちが、	地域の特色や記	淉題につい	て探究し、	学びあう	ために、	永平寺町
	ا ځ	してどの	ような	取組が必要か、	アイデア	があれば、	ご記入くが	ださい。	

問 13 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- 3. 中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- 4. その他の意見

問 13- 1	問13で「4.	その他の意見」	を選んだ方は、	自由にご意見をご記入ください。

【中学校別の生徒数の将来推計について】

中学校全体

	平成31年度			令	令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123	
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126	
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128	
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377	

永平寺町の中学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では 28%減少することが予想されています。

松岡中学校

	平成31年度			令	令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90	
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92	
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95	
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277	

永平寺中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59

上志比中学校

	平成31年度			令和5年度			令和	110年	F度	令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

【推計方法】

住民基本台帳 (平成31年4月1日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している生徒がいるため、 平成 31 年度の生徒数の実数と推計値には 差があります。 問14 将来的に生徒数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、項目ごと にあてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

項目	希望する	やや 希望	どちらで もない	あまり 希望 しない	希望 しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど)を相互に活用することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5

問 14- 1	閉 14 の項目 1	以外で希望する	ことがあれば、	ご記入ください。

学習において、話し合い 行う実験や実習、もっと多 め、成長していきます。 また、スポーツにおいて このように、子どもたち 人数は重要な項目となりま	くの人数で行うう も、一定の人数が のためによりよし	ディベート学習ながいると、体験で	どを通じ、他 きる集団スホ	2者との学び合いを深
問15 1学級の生徒数・1学 <u>れ</u> ご記入ください。	年の生徒数につい	ハて、あなたが <u>最</u> ・	低限必要だと	<u>:思う人数</u> を、 <u>それぞ</u>
<u>1 学級</u> 最低 ()人	1学年 最	医 ()人
問15-1 その理由をご記入	ください。			

現在、国では、中学生を対象とした少人数教育の実施に向け、1学級の上限人数を 40 人から減少していくことを検討しています。

既に福井県では、中学校の1学級の上限を32人と定め、少人数教育を推進しています。

問15-2	1 学級の生徒数・	1 学年の生徒数について、	あなたが <u>適正だと思</u>	う人数 を、	<u>それぞれ</u>
_	ご記入ください。				

		. • •					
1学級	(~)人	1 学年	(~)人
問15-3	その理由を	ご記入く	ださい。				
問 16 も	しも、今、ヨ	Pどもたち	が通学してい	る中学校が統合	され、廃	校、休校と	なった場合、あ
				う に〇をつけ	てくださ	い。	
※ 通学	手段は確保さ	れている	ものとします。	2			
1. 今ā	まで通り住み	メ続ける		2. 町内(の学校の	近くに転居	する
3. 町久	外の学校の近	丘くに転居	する	4. どう	するかわ	からない	
問 16-1	問 16 に・	<u>ついて</u> 、[自由にご意見	をご記入くださ	い。		
			4	その他			
問 17 お・	子様が携帯冒	電話 (スマ	ートフォン)	などやパソコン	(タブレ	ット)を利	用するときに、
-				番号 <u>1つ</u> に○を			
1. 定	かている			2. 特に	定めてい	ない	
				お聞きします。 る番号 すべて (にのたつ	 サナノだっ	+11
	用する時間	内台に Ju	(, 0) (14 4	2. 利用 ⁻		1) (\ /_ (- 0.0
	用する場所			4. 利用 ⁻			
				수 . 전기 기기	の立のの		`
5. その)
※ 問 17 で	「1. 定め	ている」を	選んだ方にお	3聞きします。			
				はまる番号 <u>1</u> ・	<u>つ</u> に0を	つけてくた	きさい。
1. 守4	うれている			2 ある	程度守ら	れている	

4. 守られていない

3. あまり守られていない

※ 問 1	1で −2.特に定めていない」を選んだ.	方にお聞きします。
問 17-	- 3 ルールを定めていない理由について	て、あてはまる番号 <u>すべて</u> に〇をつけてください
1.	子どもに任せておいて大丈夫だから	2. トラブルになると思わないから
3.	ルールをつくっても守らないから	4. ルールのつくり方がわからないから
5.	その他()
		どのようなことを希望されますか。ご意見等が
	ございましたら、ご自由にご記入くだ	さい。
問 19	最後に、学校教育全般に関してご意り	見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

お子様を通じて、それぞれの小中学校へ、2月19日(金)までにご提出ください。

永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (幼児園・幼稚園保護者用)

調査ご協力のお願い

日ごろから、町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

近年、永平寺町では、少子化に伴い、地域差はあるものの、少しずつ各学校の小規模化が進んでいます。少子高齢化や高度情報化など、社会情勢の変化が教育環境にもさまざまな影響を及ぼすことが全国的に懸念されている中、町では、将来にわたって質の高い教育を維持するため、「永平寺町学校のあり方検討委員会」を設立し、永平寺町内の小中学校のあり方について、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、の2つの事項を諮問し、答申をまとめていただくこととしました。

このアンケートは、「これからの永平寺町の学校教育がどうあってほしいか」などについて、保護者のみなさまのご意見を広くお聞きし、答申をまとめる際の参考とさせていただくものであり、小中学校の再編を前提に実施するものではございません。

回答はすべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 永平寺町

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査は、幼児園・幼稚園に通うお子様の保護者を対象にお送りしています。
- 2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。
- 3. お子さんが小学生になられた場合、中学生になられた場合を想定してご記入ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、 **それぞれの幼児園・幼稚園へ2月19日(金)までに**ご提出ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆

永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



ご記入者様(あなた)及びお子様についてお聞きします。

問 1 あなた(ご記入者様)とお子様の関係、年齢をご記入ください。

1. 母親	2.	父親	3. その他()
あなた(ご記入者様)の年齢	()歳	
お子様の年齢	()歳	

問2 あなたが住んでいる小学校区について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

1. 松岡小学校区 2. 吉野小学校区 3. 御陵小学校区 4. 志比小学校区 6. 志比北小学校区 5. 志比南小学校区 8. わからない 7. 上志比小学校区

小学校についてお聞きします。

- 問3 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・ 対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。その他に、保護者として小学校 教育で重要視していることは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。
 - 1. 社会のマナーやルールを身につけること 2. 確かな学力*を身につけること
 - 3. 自己肯定感を高めること
 - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
 - 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケー ション能力を身につけること
 - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験が できること
- 11. どの学年も複数の学級として、クラス替 えができるようにすること
- 13. ICT 教育*の環境を整備し、プログラミ ング教育やオンライン方式の学習など の情報教育(メディアリテラシー教育* や情報モラルに関する指導を含む)の推 進を図ること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心 化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環 境の整備 など)が図られていること

- 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
- 6. 他校との交流を深めること
 - 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を 身につけること
- 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身に つけること
- 12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教 育を受けること
- 14. 外国の人との交流を通して多様性を学 び、コミュニケーション力を高めるとと もに、日本の文化のすばらしさについて も理解すること
 - を持つこと
- ※確かな学力…知識や技術だけでなく、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行 動し、よりよく問題解決する資質や能力のこと
- ※ICT 教育…パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと ※メディアリテラシー教育…メディアが発信する情報を読み取り、自分の意見を発信する能力を育む教育のこと
- 問3-1 **問3の項目以外**で重要視していることがあれば、ご記入ください。

- 問4 保護者として子どもたちと地域との関わりについて期待することは何ですか?あてはまる番号<u>3つ</u>に〇をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む) ※3~8は授業の中で行うことを想定しています。
 - 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
 - 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
 - 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること
 - 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
 - 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
 - 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
 - 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
 - 8. 地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加してくれること
 - 9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
 - 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
 - 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
 - 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
 - 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
 - 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
 - 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
 - 16. 特になし
- 問4-1 子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学びあうために、永平寺町 としてどのような取組が必要か、アイデアがあれば、ご記入ください。
- 問5 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

- ※廃校…設置者から廃止の届出があった公立の小中学校のこと
 - 体校…廃止の届出はないものの、児童・生徒が在籍しておらず、学級数が O の公立 の小中学校のこと
- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- 3. 小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- 4. その他の意見
- 問5-1 問5で「4. その他の意見」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

【小学校別の児童数の将来推計について】

小学校全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697

永平寺町の小学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では 27%減少することが予想されています。

松岡小学校

	平原	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62	
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63	
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63	
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64	
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65	
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65	
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382	

吉野小学校

	平原	戊31年	F度	令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54

御陵小学校

	平月	平成31年度		令	和5年	度	令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86

志比小学校

	平月	平成31年度		令和5年度		令和10年度			令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58

志比南小学校

	平成31年度		令和5年度		令和10年度			令和15年度				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30

志比北小学校

	平月	平成31年度		令:	令和5年度		令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12

上志比小学校

	平成31年度		F度	令:	令和5年度		令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75

【推計方法】

住民基本台帳 (平成 31 年 4 月 1 日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している児童がいるため、 平成 31 年度の児童数の実数と推計値には 差があります。 問6 将来的に児童数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、項目ごと にあてはまる番号 **1 つ**に〇をつけてください。

項目	希望する	やや 希望	どちらで もない	あまり 希望 しない	希望 しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど)を相互に活用することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5

 114 - 11 M H 1141	

問6-1 問6の項目以外で希望することがあれば、ご記入ください。

学習において、話し合い活動が重視されており、子どもたちは2人のペア学習、3~4人で行う実験や実習、もっと多くの人数で行うディベート学習などを通じ、他者との学び合いを深め、成長していきます。

また、スポーツにおいても、一定の人数がいると、体験できる集団スポーツも増えます。 このように、子どもたちのためによりよい教育環境を総合的に考える際、1学年・1学級の 人数は重要な項目となります。

問 7 1学級の児童数・1学年の児童数について、あなたが<u>最低限必要だと思う人数</u>を、<u>それぞ</u> <u>れ</u>ご記入ください。

1学級	最低	()人	1学年	最低	()人
問 7 — 1	その理	!由をご記入くだる	≯ (.) .				
ļ □ J							

現在、国では、公立の小学校を対象に1学級の上限人数を40人から35人とする「少人数学級」の導入の動きが進められています。

既に福井県では、小学校の1学級の上限人数を35人と定め、少人数教育を推進しています。

問 7 一 2	1 学級の児童数・	1 学年の児童数について、	あなたが <u>適正だと思</u>	<u>う人数</u> を、	<u>それぞれ</u>
	ご記入ください。				

1字級 (~)人	1字年		~)人
問7-3 その理由	をご記入くださ	l'°				
問8 もしも、将来 なたはどうしま ※ 通学手段は確保	すか。あてはま	る番号 <u>1つ</u> に				なった場合、あ
1. 今まで通り住	み続ける		2. 町内の	D学校の近。	くに転居す	する
3. 町外の学校の	近くに転居する)	4. どうっ	するかわかり	らない	
		ᆞᆣᅔᄝᇵᆣᄗ	13 / <u>1</u> 0 1 1			
問8-1 問8にご	<u> ういて</u> 、目田に	・こ思兄でこむ	入くたさし	\ ₀		
問8-1 <u>問8に</u>	<u> ういて</u> 、目田に	・こ息兄でこむ	人ください	, °		

中学校についてお聞きします。

- 問9 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。その他に、保護者として中学校教育で重要視していることは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。
 - 1. 社会のマナーやルールを身につけること
 - 2. 確かな学力を身につけること
 - 3. 自己肯定感を高めること
 - 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
 - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
 - 6. 他校との交流を深めること
 - 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
 - 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身につけること
 - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
 - 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
 - 11. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること
 - 12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること
 - 13. ICT 教育の環境を整備して、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること
 - 14. 外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整備など)が図られていること
- 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと
- 17. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること

問 0 — 1	関のの頂目	以外で重要组	ていることがあれば.	ブ記入ください
尚 9 ー 1	間タの坦日	しんかい 単安保し	こしいることかめれは.	こころください。

問10 保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか? あてはまる番号<u>3つ</u>に〇をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む) ※3~8は授業の中で行うことを想定しています。

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
- 8. 地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加してくれること
- 9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし
- 問 10-1 子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学びあうために、永平寺町 としてどのような取組が必要か、アイデアがあれば、ご記入ください。
- 問 11 もしも、将来、お子様が通学する予定の中学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどうしますか。あてはまる番号 1つに〇をつけてください。
 - 1. 今まで通り住み続ける

- 2. 町内の学校の近くに転居する
- 3. 町外の学校の近くに転居する
- 4. どうするかわからない
- 問 11-1 **問 11 について**、自由にご意見をご記入ください。

問 12 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- 3. 中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- 4. その他の意見

問 12- 1	問12で「4.	その他の意見」	を選んだ方は、	自由にご意見をご記入ください。

【中学校別の生徒数の将来推計について】

中学校全体

	平成31年度			令	令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123	
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126	
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128	
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377	

永平寺町の中学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では 28%減少することが予想されています。

松岡中学校

	平月	平成31年度			令和5年度		令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277

永平寺中学校

	平原	平成31年度			令和5年度		令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59

上志比中学校

	平原	平成31年度			令和5年度		令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

【推計方法】

住民基本台帳 (平成31年4月1日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している生徒がいるため、 平成 31 年度の生徒数の実数と推計値には 差があります。 問13 将来的に生徒数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、項目ごとにあてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

項目	希望する	やや希望	どちらで もない	あまり 希望 しない	希望 しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど)を相互に活用することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5

問 13-1					
D 10 1	問 13 の項目以	<u>.外</u> で希望するこ。	<u>とがあれば、ご</u>	記入ください	\ •
学習に	おいて、話し合い	い活動が重視されて	こおり、子どもた	ちは2人のペ	ステンジョン 3 ~ 4 人で
		多くの人数で行うう	ディベート学習な	どを通じ、他	!者との学び合いを深
	もしていきます。	て	ミュンフ しっ 仕取って	セフ 生口 コー	° w++=++
		ても、一定の人数だ ちのためによりよし			ニッも増えます。 そ、1学年・1学級の
	要な項目となりる				
問14 1 学	2級の生徒数・19	芝年の生徒数につ!	ヽて あかたが暑	低限必要だと	思う人数を、それぞ
) 十 切工化数10 20			1/13/ J/13/ E \ C10 C
	己入ください。				
)人	<u>1学年</u> 最	低()人
<u>れ</u> ご記 1学級	最低 (<u> </u>	1学年 最	低 ()人
<u>れ</u> ご記 1学級		<u> </u>	1学年 最	低 ()人
<u>れ</u> ご記 1学級	最低 (<u> </u>	1学年 最	低()人
<u>れ</u> ご記 1学級	最低 (<u> </u>	1学年 最	低()人
<u>れ</u> ご記 1学級	最低 (<u> </u>	1学年 最	低()人

現在、国では、中学生を対象とした少人数教育の実施に向け、1学級の上限人数を 40 人から減少していくことを検討しています。

既に福井県では、中学校の1学級の上限を32人と定め、少人数教育を推進しています。

問14-2	1 学級の生徒数・	1 学年の生徒数について、	あなたが <u>適正だと思</u>	<u>う人数</u> を、	<u>それぞれ</u>
	ご記入ください。				

1 学級	(\sim)人	1学年	(\sim)人
問14-3	その理由る	をご記入くた	ささい 。				
BB 45 / .		- 181 1 1 1	*\ \\	1 W 14 / S / 4 A		- 11 I+ 1	
			が通字している はまる番号 <u>1~</u>				なった場合、あ
※通学手段				<u>5</u> 10 & 51)	C \ /_ C \	, , o	
1. 今ま ⁻	で通り住る	み続ける		2. 町内の	の学校の近	íくに転居?	する
3. 町外(の学校のは	丘くに転居す	する	4. どう	するかわた	いらない	
問 15- 1	問 15 に	<u>ついて</u> 、自	由にご意見を	ご記入くださ	: L1°		
			育に対して、 にご記入くだ		とを希望	されますが	か。ご意見等が
	0.070	<u> </u>	4077 ()-				
問 17 最後	とに、学校	教育全般に	関してご意見	しがございまし	したら、ご	自由にご	記入ください。
	-	· -					

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

それぞれの幼児園・幼稚園へ2月19日(金)までにご提出ください。

ネいへいじちょう 永平寺町学校についてのアンケート調査(小学校2~4年生用)

ちょうさ きょうりょく ねが 調査ご協力のお願い

このアンケートは、みなさんの学校での生活の様子や学校について思っていることを調べるものです。みなさんの答えをもとに、永平寺町がみなさんのためにできることを考えていきますので、ご 協力をお願いします。

このアンケートは、まちの将来を決める大切な材料です。

また、アンケートには名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは他の人にはわかりませんから、みなさんが考えていることをそのまま答えてください。

令和3年1月 永平寺町

【回答にあたってのお願い】

テストではありませんので、あなたの思うことを書いてください。

◆調査に関するお問い合わせ先◆

えいへいじちょうきょういくいいんかい がっこうきょういくか 永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



あなたについておしえてください。

1 あなたは何年生ですか。		
1. 2年生	2. 3年生	3. 4年生

- 2 あなたの学校をえらんでください。
 - 1. 松岡(まつおか) 小学校
 - 3. 御陵(ごりょう) 小学校
 - 5. 志比(しひ)小学校
 - 7. 上志比(かみしひ)小学校

- 2. 吉野(よしの)小学校
- 4. 志比南(しひみなみ) 小学校
- 6. 志比北(しひきた)小学校

学校についておしえてください。

3	学校やクラスのいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。
	ኔ ኔ ይ
4	学校やクラスのもっと良くしたいところ、良くなってほしいところを自由に書いてください。

5 学校では、どんなことが楽しいですか。好きなことや楽しかったことを自由に書いてください。



きょうりょく
 ご協力、ありがとうございました。

永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (小学生・中学生用)

調査ご協力のお願い

小学生・中学生のみなさんが、今通っている学校についてどう思っているかを知るため、アンケート調査を行います。

このアンケートは、まちの将来を決める大切な資料になります。みなさんの想いや、考えていることをそのまま正直に答えてください。

アンケートは無記名で行いますので、どのような回答をしたかは他の人が知ることはありません。 また、回答した調査票が公表されるなど、調査の目的以外には使いませんので、安心して回答してく ださい。ご協力よろしくお願いします。

令和3年1月 永平寺町

【ご記入にあたってのお願い】

答えを選ぶ場合、選ぶ数が質問によって違いますので、それぞれの質問の指示にしたがってください。また、「その他」を選んだ場合は、その後ろにある()内に具体的な内容を書いてください。

◆調査に関するお問い合わせ先◆

永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



あなたについてお聞きします。

問1 あなたの学年をお答えください。

- 1. 小学5年生
- 2. 小学6年生
- 3. 中学1年生
- 4. 中学2年生
- 5. 中学3年生

問2 あなたが現在通っている小学校または中学校はどれですか。

- 1. 松岡小学校
- 2. 吉野小学校
- 3. 御陵小学校

- 4. 志比小学校
- 5. 志比南小学校
- 6. 志比北小学校

- 7. 上志比小学校
- 8. 松岡中学校
- 9. 永平寺中学校

10. 上志比中学校

学校についてお聞きします。

問3 自分の学校や学級のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。

問4 自分の学校や学級のもっと良くしたいところ、良くなってほしいところを自由に書いてく ださい。

問5 これから学校でやってみたいことについて、項目ごとにあてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

項目	ぜひ やってみたい	やってみたい	普通	そんなに やりたくない	やりたくない
①地域の伝統や文化を学んだり、体 験したりすること	1	2	3	4	5
②近隣の自然について学んだり、体験 したりすること	1	2	3	4	5
③農業などについて学んだり、体験し たりすること	1	2	3	4	5
④企業の方と職場や就業に関する体験をすること	1	2	3	4	5
⑤外国語や外国の文化に触れること	1	2	3	4	5
⑥プログラミング教育や最先端技術 を学ぶこと	1	2	3	4	5
⑦学級の仲間と一緒に行うグループ 学習	1	2	3	4	5
⑧自分たちで地域の課題を解決する ような学習	1	2	3	4	5
⑨違う学年と一緒に様々な体験や学 習をすること	1	2	3	4	5

項目	ぜひ やってみたい	やってみたい	普通	そんなに やりたくない	やりたくない
⑩違う学校と一緒に様々な体験や学習をすること	1	2	3	4	5
⑪小中学校で一緒に様々な体験や学習をすること	1	2	3	4	5
⑫最先端技術を利用して、他の学校や 地域と交流・学習をすること	1	2	3	4	5

問5-1 問5の項目以外でやってみたいことがあれば、ご記入ください。

問 6	地域との関わ	りについて其	月待するこ	とは何ですか	・?あてはま	る番号 <u>3つ</u> に〇をつ
	けてください。					

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
- 8. 地域の大学と協力し、一緒に様々な考え方を学びながら、課題を解決する学習をすること
- 9. 休日や放課後などに、宿題などの学習支援をしてくれること
- 10. 祭りや美化活動などの地域活動に参加させてくれること
- 11. ボランティア活動などに参加させてくれること
- 12. 特になし

問6一1 問6の項目以外	で地域に期待する	ことがあれば、	ご記入ください。
--------------	----------	---------	----------

問 7	あなたが現在通っている小学校または中学校について、	、1	1学級ある	たりの児童数	汝 •	生徒数を
	どう思いますか。あてはまる番号 1 つ に〇をつけてく	<i>†</i> = 7	さい。			

	: 7心 v s 7 x % th c ta s y E t 7 <u>T 2</u> 1 0 と	
1.	もっと多い方がよい	2. ちょうどよい

3. もっと少ない方がよい 4. その他()

)

問 7 で「 1. もっと多い方がよい」と答えた方のみ、お答えください。

- 問 7-1 もっと多い方がよいと思うのはなぜですか。あてはまる番号2つまでに〇をつけてください。
 - 1. たくさんのクラスメイトが欲しいから
 - 2. もっとたくさんの先生と話がしたいから
 - 3. いろいろなグループで活動したいから
 - 4. クラス替えがしたいから
 - 5. もっとたくさんの種類から部活動などを選びたいから
 - 6. その他(

問 7 で「3. もっと少ない方がよい」と答えた方のみ、お答えください。

- 問 7 2 もっと少ない方がよいと思うのはなぜですか。あてはまる番号<u>2つまで</u>に〇をつ けてください。
 - 1. 少人数のクラスメイトと一緒にいたいから
 - 2. 先生ともっと相談や話をする機会が欲しいから
 - 3. もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたいから
 - 4. 同じクラスメイトで卒業まで過ごしたいから
 - 5. もっとリーダー的役割をしたいから
 - 6. その他(

その他

- 問8 携帯電話(スマートフォン)などやパソコン(タブレット)を利用していますか。あては まる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。
 - 1. 利用している

2. 利用していない

問8で「1. 利用している」を選んだ方にお聞きします。

- 問9 携帯電話(スマートフォン)などやパソコン(タブレット)を利用するときに、家族との間で定めたルールや決まり事がありますか。
 - 1. ある

2. 特にない

問9で「1.ある」を選んだ方にお聞きします。

- 問9-1 ルールや決まり事の内容について、あてはまる番号<u>すべて</u>に〇をつけてください。
 - 1. 利用する時間

2. 利用する金額

3. 利用する場所

4. 利用する内容

5. その他(

)

問9で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。

- 問9-2 ルールは守っていますか。あてはまる番号1つに〇をつけてください。
 - 1. 守っている

2. ある程度守っている

3. あまり守っていない

4. 守っていない

永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (高校生用)

調査ご協力のお願い

高校生のみなさんが、以前通っていた小学校・中学校についてどう思っているかを知るため、アンケート調査を行います。

このアンケートは、まちの将来を決める大切な資料になります。みなさんの想いや、考えていることを答えてください。

アンケートは無記名で行いますので、どのような回答をしたかは他の人が知ることはありません。 また、回答した調査票が公表されるなど、調査の目的以外には使いませんので、安心して回答してください。ご協力よろしくお願いします。

令和3年1月 永平寺町

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. 小学校・中学校についての質問があります。
- 2. 小学生・中学生だった頃のことを振り返りながら、お答えください。町外の小中学校に通学していた方も、通学していた学校についてお答えください。
- 3. 答えを選ぶ場合、選ぶ数が質問によって違いますので、それぞれの質問の指示にしたがってください。また、「その他」を選んだ場合は、その後ろにある() 内に具体的な内容を書いてください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、 切手を貼らずに、2月19日(金)までにポストに投函してください。

◆調査に関するお問い合わせ先◆

永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



		あなたについ	てお聞きしま	す 。	
問 1	あなたの年齢をお答	えください。			
あな	なたの年齢 ()歳			
問 2	あなたが通っていた	:小学校はどれですか	\ _o		
1.	松岡小学校	2. 吉野小学	校	3. 御陵小学	 !校
4.	志比小学校	5. 志比南小	学校	6. 志比北小	学校
7.	上志比小学校	8. 永平寺町	外の小学校		_
問 3	あなたが通っていた	:中学校はどれですか	\ _o		
1.	松岡中学校	2. 永平寺中	学校	3. 上志比中	
4.	永平寺町外の中学校	Σ			
		小学校の頃につ	<u>いてお聞きし</u>	<u>ます。</u>	
問 4	小学生だった頃の学				車いてください。
[HJ .	A J The Steeler		- УСПКСС	<u> ОСС УСПП</u>	
	小学生だったころの ころを自由に書いてく		:良くしたかっ?	たところ、良くな	ってほしかったと
問 6	あなたが通っていた それぞれ ご記入くだる	- 小学校について、≝ : い。分からなけれに			児童数について、
1 =	学級()人	1 学年	()人
問7	あなたが通っていた る番号 <u>1つ</u> に〇をつ	:小学校について、1 けてください。	――― 学級あたりのり	見童数をどう思い	ますか。あてはま
1.	もっと多い方がよた	<u></u> いった	2. ちょう	うどよかった	
3.	もっと少ない方がよ	にかった	4. その	也 ()
~~~~~~	で「1.もっと多い -1 もっと多い方 つけてください。	がよかったと思う			<u> </u>
1.	もっとたくさんのク	ラスメイトが欲した	いったから		
2.	もっとたくさんの先	生と話がしたかった	きから		
3.	いろいろなグルーフ	プで活動したかったた	15		

4. もっとクラス替えをしてほしかったから

6. その他 (

5. もっとたくさんの種類から部活動などを選びたかったから

問	フで	ГЗ.	もっと	・少ない	方がよかっ	<i>t-</i> 1	と答えた方のみ、	お答えください。
I I	, .		U - C	. <i>&gt;</i>	73 13 55 13 2	′ ′ — 」		

問 7 一 2	もっと少なし	ハ方がよかっ	ったと思う	のはなぜ	ですか。	あてはまる	る番号 <u>2つ</u>	<u>まで</u> に〇
を	つけてくださ	: LV _o						

1. 少人数のクラスメイトと一緒にいたかったから	
2. 先生ともっと相談や話をする機会が欲しかったから	
3. もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたかったから	
4. 同じクラスメイトで卒業まで過ごしたかったから	
5. もっとリーダー的役割をしたかったから	
6. その他(	)

4. 同しノフスストーで千米ので過ごしたがっ		
5. もっとリーダー的役割をしたかったから		
6. その他(		)
		-
中学校の頃につい	てお聞きします。	
問8 中学生だった頃の学校や学級のいいところ	、自慢できるところを自由	由に書いてください。
	くしたかったところ、良く	くなってほしかったと
ころを自由に書いてください。	( O 1218 ) 12 C C J ( K )	(
問10 あなたが通っていた中学校について、当時	の1学級の生徒数・1学	モの生徒数について
間で めなたが過りていた十十人にういて、当時	107 1 丁版 27 工 正 25 工 下 -	
<u>それぞれ</u> ご記入ください。分からなければ空	役欄で構いません。	
それぞれご記入ください。分からなければ空         1学級       )人	R欄で構いません。 <u>1学年</u> (	)人
1学級 ( )人	1 学年 (	
	1 学年 (	
	1 学年 (	
1学級 ( )人 問 11 あなたが通っていた中学校について、1: まる番号 1つに〇をつけてください。	<u>1学年</u> ( 学級あたりの生徒数をどう	,
1学級 ( )人 問 11 あなたが通っていた中学校について、15まる番号 <u>1つ</u> に〇をつけてください。 1.もっと多い方がよかった 3.もっと少ない方がよかった	1学年 ( 学級あたりの生徒数をどう 2. ちょうどよかった 4. その他(	思いますか。あては
1学級 ( )人  問 11 あなたが通っていた中学校について、1 まる番号 1つにOをつけてください。  1. もっと多い方がよかった  3. もっと少ない方がよかった  問 11 で「1. もっと多い方がよかった」と答	1学年 ( 学級あたりの生徒数をどう 2. ちょうどよかった 4. その他( えた方のみ、お答えくだ	思いますか。あては
1学級 ( )人  問 11 あなたが通っていた中学校について、1 まる番号 1つにOをつけてください。  1. もっと多い方がよかった 3. もっと少ない方がよかった  問 11 で「1. もっと多い方がよかった」と答問 11-1 もっと多い方がよかったと思うの	1学年 ( 学級あたりの生徒数をどう 2. ちょうどよかった 4. その他( えた方のみ、お答えくだ	思いますか。あては
1学級 ( )人  問 11 あなたが通っていた中学校について、1: まる番号 1つにOをつけてください。  1. もっと多い方がよかった 3. もっと少ない方がよかった  問 11 で「1. もっと多い方がよかった」と答問 11-1 もっと多い方がよかったと思うのつけてください。	1学年 (学級あたりの生徒数をどう 2. ちょうどよかった 4. その他 ( えた方のみ、お答えくだ はなぜですか。あてはまる	思いますか。あては
1学級 ( )人  問 11 あなたが通っていた中学校について、1 まる番号 1つにOをつけてください。  1. もっと多い方がよかった  3. もっと少ない方がよかった  問 11 で「1. もっと多い方がよかった」と答問 11-1 もっと多い方がよかったと思うのつけてください。  1. もっとたくさんのクラスメイトが欲しかった。	1学年 (学級あたりの生徒数をどう 2. ちょうどよかった 4. その他 ( えた方のみ、お答えくだ はなぜですか。あてはまる	思いますか。あては
1学級 ( )人  問 11 あなたが通っていた中学校について、1: まる番号 1つにOをつけてください。  1. もっと多い方がよかった 3. もっと少ない方がよかった  問 11 で「1. もっと多い方がよかった」と答問 11-1 もっと多い方がよかったと思うのつけてください。	1学年 (学級あたりの生徒数をどう 2. ちょうどよかった 4. その他 ( えた方のみ、お答えくだ はなぜですか。あてはまる たから ら	思いますか。あては

- 4. もっとクラス替えをしてほしかったから
- 5. もっとたくさんの種類から部活動などを選びたかったから
- 6. その他(

)

問	11	で「	3.	もっ	と少	ない	方が	よか	10	<i>t-</i> 1	لح	答え	<i>t-</i> :	方の	12:	お答え	えく	ださ	L1.
l m l			$\circ$ .	0 2		. 0- 0	/3 /3	5 13	_	/	_		/-	/ 」	0, 1	00 🖂 🖊	_ \	/	• 0

問 11-	2	もっ	と少さ	ないこ	方が。	よか	った	と思	うり	のはフ	なぜ	です	<b>ナか</b> 。	あ	てはま	る番号	号 <u>2</u> ・	つまで	<u> き</u> に0
	をつ	つけて	こくだ	さい	0														

1.	少人数のクラスメイ	トとー	-緒にいたか‐	ったから

- 2. 先生ともっと相談や話をする機会が欲しかったから
- 3. もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたかったから
- 4. 同じクラスメイトで卒業まで過ごしたかったから
- 5. もっとリーダー的役割をしたかったから
- 6. その他(

## その他

問 12 携帯電話 (スマートフォン) などやパソコン (タブレット) を利用していますか。あては まる番号 1.つに〇をつけてください。

1. 利用している

2. 利用していない

#### 問 12 で「1. 利用している」を選んだ方にお聞きします。

問 12-1 携帯電話(スマートフォン)などやパソコン(タブレット)を利用するときに、家族との間で定めたルールや決まり事がありますか。あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

1. ある 2. 特にない

問 12-1で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。

問 12-2 ルールや決まり事の内容について、あてはまる番号 **すべて**に〇をつけてください。

1. 利用する時間

2. 利用する金額

3. 利用する場所

4. 利用する内容

5. その他(

問 12-1で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。 問 12-3 ルールは守っていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 守っている

2. ある程度守っている

3. あまり守っていない

4. 守っていない

問 13 最後に、永平寺町の小中学校の教育に関して思うことがございましたら、ご自由に ご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

切手を貼らずに、2月19日(金)までにポストに投函してください。

# 永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (地域住民用)

#### 調査ご協力のお願い

日ごろから、町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

近年、永平寺町では、少子化に伴い、地域差はあるものの、少しずつ各学校の小規模化が進んでいます。少子高齢化や高度情報化など、社会情勢の変化が教育環境にもさまざまな影響を及ぼすことが全国的に懸念されている中、町では、将来にわたって質の高い教育を維持するため、「永平寺町学校のあり方検討委員会」を設立し、永平寺町内の小中学校のあり方について、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、の2つの事項を諮問し、答申をまとめていただくこととしました。

このアンケートは、「これからの永平寺町の学校教育がどうあってほしいか」などについて、町民の みなさまのご意見を広くお聞きし、答申をまとめる際の参考とさせていただくものであり、小中学校 の再編を前提に実施するものではございません。

回答はすべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 永平寺町

## 【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査は、永平寺町在住の方から抽出した約 1,500 名を対象にお送りしています。
- 2. 学校、園の保護者アンケートにお答えいただいた方につきましても、地域住民の立場でお答えください(設問の内容も異なります)。
- 3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。
- 4. お子さんの有無にかかわらず、ご記入ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、 **切手を貼らずに、2月19日(金)までに**ポストに投函してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆

永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



# ご記入者様(あなた)についてお聞きします。

あなた(ご記入者様)の性別、年齢をご記入ください。 問 1

あなた(ご記入者様)	の性	(	)
あなた(ご記入者様)	の年齢	(	)歳

問2 あなたが住んでいる小学校区について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

- 1. 松岡小学校区
- 2. 吉野小学校区
- 3. 御陵小学校区

- 4. 志比小学校区
- 5. 志比南小学校区
- 6. 志比北小学校区

- 7. 上志比小学校区
- 8. わからない

## 小学校についてお聞きします。

- 問3 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・ 対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。その他に、小学校教育で重要だ と思うことは何ですか?あてはまる番号3つに〇をつけてください。
  - 1. 社会のマナーやルールを身につけること
  - 3. 自己肯定感を高めること
  - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと 6. 他校との交流を深めること
  - ション能力を身につけること
  - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験が できること
- 11. どの学年も複数の学級として、クラス替 えができるようにすること
- 13. ICT 教育*の環境を整備し、プログラミ ング教育やオンライン方式の学習など の情報教育(メディアリテラシー教育* や情報モラルに関する指導を含む)を含 む)の推進を図ること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能 強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコ ン環境の整備 など)が図られているこ

- 2. 確かな学力*を身につけること
  - 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
- 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケー 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を 身につけること
  - 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身に つけること
  - 12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教 育を受けること
  - 14. 外国の人との交流を通して多様性を学 び、コミュニケーション力を高めるとと もに、日本の文化のすばらしさについて も理解すること
  - 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心 を持つこと
- ※確かな学力…知識や技術だけでなく、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行 動し、よりよく問題解決する資質や能力のこと
- ※ICT 教育…パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと ※メディアリテラシー教育…メディアが発信する情報を読み取り、自分の意見を発信する能力を育む教 育のこと
- 問3-1 **問3の項目以外**で重要視していることがあれば、ご記入ください。

- 問4 <u>問3の学校教育以外</u>で、地域における小学校の役割について、項目ごとにあてはまる番号1つにOをつけてください。
  - ①~⑤の項目以外で学校の役割だと思うことがあれば、⑥その他にご記入ください。

項目	そう思う	やや そう思う	普通	そう 思わない	全く 思わない
①地域の歴史、文化の中核的な存在であること	1	2	3	4	5
②子どもたちとの交流ができる施設であること	1	2	3	4	5
③避難所など、地域の防災拠点であること	1	2	3	4	5
④地域社会のつながりや支えあいのセンター的存 在であること	1	2	3	4	5
⑤地域のイベント会場の場であること	1	2	3	4	5
<ul><li>⑥その他</li></ul>					

問 5 小学校との関わりについて、あなたが**継続的に**協力できることは何ですか? あてはまる番号<u>すべて</u>に〇をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む)

## ※ 3~8は授業の中で行うことを想定しています。

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートすること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力すること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援すること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援すること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をすること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をすること
- 8. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 9. 地域の方が PTA 活動への協力の依頼があれば参加すること
- 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし

問5-1 小学校への関わりについて、あな さい。	たが継続的に協力できることを具体的にお答えくだ
多様な話し合い活動が欠かせません。 そこで、子どもたちのよりよい成長 とから、廃校や休校による統合なども とについて、あてはまる番号 <u>1つ</u> にC ※廃校…設置者から廃止の届出があっ	
1. いくら少人数であっても、現在の学校	をそのまま存続させてほしい
2. ある程度の適正人数を確保するために	、統合などは仕方ないと思う
3. 小学校を存続させるか、統合するかに	ついては、よく分からない
4. その他の意見	
問7 もしも、将来、子どもたちが通学して あなたはどうしますか。あてはまる番号 ※ 通学手段は確保されているものとします	
1. 今まで通り住み続ける	2. 町内の学校の近くに転居する
3. 町外の学校の近くに転居する	4. どうするかわからない
問7-1 <u>問7について</u> 、自由にご意見を	をご記入ください。

#### 【小学校別の児童数の将来推計について】

## 小学校全体

	平原	戊31年	F度	令	和5年	度	令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697

永平寺町の小学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では 27%減少することが予想されています。

#### 松岡小学校

	平原	平成31年度			和5年	度	令和	和10年度		令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382

#### 吉野小学校

	平原	戊31年	F度	令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54

## 御陵小学校

	平月	戊31年	F度	令	和5年	度	令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86

## 志比小学校

	平月	戊31年	F度	令:	和5年	度	令和	110年	F度	令和	115年	F度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9		
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9		
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10		
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10		
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10		
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10		
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58		

#### 志比南小学校

	平原	戊31年	度	令和5年度			令和	110年	度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5	
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5	
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5	
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5	
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5	
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5	
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30	

#### 志比北小学校

, , ,	_ ,	J 1.										
	平月	戊31年	F度	令	和5年	度	令和	110年	F度	令和	115年	F度
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12

## 上志比小学校

	平月	戊31年	F度	令:	和5年	度	令和	口10年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11	
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12	
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13	
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13	
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13	
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13	
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75	

## 【推計方法】

住民基本台帳 (平成31年4月1日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している児童がいるため、 平成 31 年度の児童数の実数と推計値には 差があります。

## 中学校についてお聞きします。

- 問8 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。その他に、中学校教育で重要だと思うことは何ですか?あてはまる番号3つに〇をつけてください。
  - 1. 社会のマナーやルールを身につけること
  - 2. 確かな学力を身につけること
  - 3. 自己肯定感を高めること
  - 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
  - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
  - 6. 他校との交流を深めること
  - 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
  - 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身につけること
  - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
  - 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
  - 11. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること
  - 12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること
- 13. ICT 教育の環境を整備して、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること
- 14. 外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整備など)が図られていること
- 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと
- 17. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること
- 問8-1 **問8の項目以外**で重要視していることがあれば、ご記入ください。

問9 <u>問8の学校教育以外</u>で、地域における中学校の役割について、項目ごとにあてはまる番号1つにOをつけてください。

①~⑤の項目以外で学校の役割だと思うことがあれば、⑥その他にご記入ください。

項目	そう思う	やや そう思う	普通	そう 思わない	全く 思わない
①地域の歴史、文化の中核的な存在であること	1	2	3	4	5
②子どもたちとの交流ができる施設であること	1	2	3	4	5
③避難所など、地域の防災拠点であること	1	2	3	4	5
④地域社会のつながりや支えあいのセンター的存 在であること	1	2	3	4	5
⑤地域のイベント会場の場であること	1	2	3	4	5
<ul><li>⑥その他</li></ul>					

問10 中学校との関わりについて、あなたが**継続的に**協力できることは何ですか? あてはまる番号<u>すべて</u>に〇をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む) ※ 3~8は授業の中で行うことを想定しています。

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートすること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力すること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援すること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援すること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をすること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をすること
- 8. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 9.地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加してくれること
- 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし

問 10-1 中学校への関わりについて、あなたが継続的に協力できることを具体的にお答えください。

問 11 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- 3. 中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- 4. その他の意見

問 11- 1	問11で「4.	その他の意見」	を選んだ方は、	自由にご意見をご記入ぐ	ください。

問 12 もしも、今、子どもたちが通学している中学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどうしますか。あてはまる番号 1 つに〇をつけてください。

※ 通学手段は確保されているものとします。

1. 今まで通り住み続ける

- 2. 町内の学校の近くに転居する
- 3. 町外の学校の近くに転居する
- 4. どうするかわからない

問 12-1 <u>問 12 について</u>、自由にご意見をご記入ください。

## 【中学校別の生徒数の将来推計について】

## 中学校全体

	平原	戊31年	F度	B E			令和10年度			令和	115年	F度
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377

永平寺町の中学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では 28%減少することが予想されています。

#### 松岡中学校

	平月	戊31年	F度	令	和5年	度	令和	110年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90	
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92	
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95	
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277	

## 永平寺中学校

	平原	<b>戈31</b> 年	F度	令和5年度			令和	110年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19	
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20	
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20	
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59	

## 上志比中学校

	平原	戊31年	F度	令	和5年	度	令和10年度			令和	F度	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

#### 【推計方法】

住民基本台帳 (平成31年4月1日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している生徒がいるため、 平成 31 年度の生徒数の実数と推計値には 差があります。

問	13	⊐		ナ	禍の「	中 <i>の</i>	) 学	校扌	教育	育に	対	し	て、	٤	<u>さ</u> の	ょ	う	なこ	ع <u>-</u>	を	希望	さ	れる	ます	か。	ヹ゙	意見	見等	が、	_
	5	ずい	ま	し	たら、	. =	自	由(	ະ ເ	二記	八	< 7	ださ	きし	<b>,</b> ,															
																														-
甲目	1 /	早	丝	ı –	₩.1	六 <i>料</i>	· 호	<del></del>	加 1.	一 月月	<b>1</b>	7	~ 곧	<b>车</b> 目	ョム	: →	+	<del>.</del>	<del>L</del> 1	+_	<u>.</u>	_	` ф г	<del>-</del>	<b>-</b> > =	<b>-</b> 7	,	+= -	+ 1 \	
問	14	最	後	ات. -	、学	校教	育	全角	設に	こ関	し	τ	ご意	急見	見か	゛ご	ざ	いる	ŧし	<i>t</i> =	ら、	ت	自日	由に	ご言	乙乙	. <	だる	さい	0
問	14	最	後	ات. ا	、学	校教	育	全点	般(	こ関	し	て	ご意	意見	見か	゛ご	ざ	いる	まし	た	<u>6.</u>	ت	自日	由に	ご言	己入	. <	だる	さい	0
問	14	最	後	(C .	、学 	校教	女育	全角	般(:	こ <u>関</u> 	<u>し</u>	て 	ご意	<u>意</u>	見か 	・	<u>ざ</u>	いる	まし	<i>t</i> =	ら、 	<u>ご</u> 	自!	由に	ご言	2 入	. <	だる	さい	0
問	14				、学 [†]	校教 	育	全角	般(:	こ <u>関</u> 	<u>し</u>	τ 	ご意 	意見	見か 	・…	ざ 	い <del>a</del>	<u>まし</u>		<u>ь.</u>		·自(	由に	ご言	<u>人</u>	. <	だる	<u>*</u> U	•
問	14				、学 	校教	<u> </u>	全	般(:	こ <u>関</u> 	<u>し</u>	τ 	ご意	意 <b>身</b> ·	見か 	・・・・・ ・・・・・	ざ 	いる	<u>‡ L</u>		<u>ь.</u>	<u> </u>	自!	由に	ご言	人5	. <	だる	<u>* い</u>	•
問	14	<b></b>			、学 [†] 	校 教 	文育 	全角	般(:			τ 	ご 意	意 5	<b>見か</b>	····	ざ 	い ā	<u>まし</u>		ら、		自!	由に	ご言	人5	. <	だる	<u>* 1)</u>	•
問	14	<b></b>	後		、学 ¹ 	校 教 	<u>育</u>	全角	设(:	こ 関		τ 	ご 彦	意	<b></b>	····	ざ 	いる	まし 		<u>ь</u>		自 [	由に	ご言	人5	. <	だる	<u> </u>	
問	14			12.	、学 ¹ 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>育</u>	全点	般(:	こ関		τ 	ご 危	<u>意</u>	<b></b>	・・・・・ ・・・・・	<u>*</u>	い ā	<u>‡ L</u>		<u>ь.</u>		自 [	由に	<u>ご</u> 言			だる	<u>* ()</u>	
問	14		後	12	、学 ¹ 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	文育 	全 船	般(;	<u>に関</u>	<u></u>	<u> </u>	ご 危	意	<b></b>	····	<u>*</u>		<u> </u>		<u>ь.</u>		自!	由に	ご言		. <	だる	<u>* ()</u>	
問	14		後		、学相  	校	<u>文育</u>	全系	<b>般</b> (i	こ <u>関</u>	<u></u>	<u> </u>	ご 高	意 <u></u>	<b></b>		<u>*</u>	L 1 8	<u>‡ L</u>		<u></u>		自1	由に 	ご言	······		だる 		
問	114		後		、学 ¹ 	· 交 教	<u>育</u>	全 f	般(;	こ <b>関</b>	<u></u>		ご 意 	<u> </u>	<b></b>	····	<u>*</u>		まし 		<u></u>		'自!	曲 (C		·····································		<u>だる</u>		
問		 	·後		、学相  	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>	<u>全</u>	般(;	 	<u></u>		ご <b>意</b>	<u>意</u> <u> </u>	<b>見か</b>	····	**************************************		まし 		ь. 		· 自 i	<u> </u>	Ţ.			<u>た</u> る	<u> </u>	

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

切手を貼らずに、2月 19 日(金)までにポストに投函してください。

# 永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (小学校教員用)

#### 調査ご協力のお願い

日ごろから、町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

近年、永平寺町では、少子化に伴い、地域差はあるものの、少しずつ各学校の小規模化が進んでいます。少子高齢化や高度情報化など、社会情勢の変化が教育環境にもさまざまな影響を及ぼすことが全国的に懸念されている中、町では、将来にわたって質の高い教育を維持するため、「永平寺町学校のあり方検討委員会」を設立し、永平寺町内の小中学校のあり方について、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、の2つの事項を諮問し、答申をまとめていただくこととしました。

このアンケートは、「これからの永平寺町の学校教育がどうあってほしいか」などについて、教員のみなさまのご意見を広くお聞きし、答申をまとめる際の参考とさせていただくものであり、小中学校の再編を前提に実施するものではございません。

回答はすべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解 いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 永平寺町

# 【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査は、町内小学校の全教員を対象にお送りしています。
- 2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、 それぞれの学校でとりまとめて、学校教育課へ2月19日(金)までにご提出ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆

永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



## ご記入者様(あなた)についてお聞きします。

ご記入者様(あなた)の年齢をご記入ください。

あなた(ご記入者様)の年齢 1.20代 2.30代 3.40代 4. 50代以上

あなたが勤務している学校について、あてはまる番号に〇をつけてください。 問 2

1. 松岡小学校

2. 吉野小学校

3. 御陵小学校

4. 志比小学校

5. 志比南小学校

6. 志比北小学校

7. 上志比小学校

# 小学校教育についてお聞きします。

問3 以下の項目は、どれも重要な事項ですが、これからの小学校教育で、特に重要だと思うこ とは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。

- 1. 社会のマナーやルールを身につけること
- 3. 自己肯定感を高めること
- 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
- ション能力を身につけること
- 9. 地域の方々との交流により豊かな体験が できること
- 11. どの学年も複数の学級として、クラス替 えができるようにすること
- 13. ICT 教育の環境を整備し、プログラミン グ教育やオンライン方式の学習などの 情報教育(メディアリテラシー教育*や 情報モラルに関する指導を含む)の推進 を図ること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能 強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコ ン環境の整備 など)が図られているこ

- 2. 確かな学力を身につけること
- 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
- 6. 他校との交流を深めること
- 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケー 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を 身につけること
  - 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身に つけること
  - 12. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な 教育を受けること
  - 14. 外国の人との交流を通して多様性を学 び、コミュニケーション力を高めるとと もに、日本の文化のすばらしさについて も理解すること
  - 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心 を持つこと

※メディアリテラシー教育…メディアが発信する情報を読み取り、自分の意見を発信する能力を育む教 育のこと

<u>問3の項目以外</u>で重要視していることがあれば、ご記入ください。 問 3 一 1

問4 現在の小学校教育の各項目の達成状況について、あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけて ください。

項目		だいたい できてい る	普通		ほとんど できてい ない
①社会のマナーやルールを身につけること	1	2	3	4	5
②確かな学力を身につけること	1	2	3	4	5
③自己肯定感を高めること	1	2	3	4	5
④環境や平和の大切さについて学ぶこと	1	2	3	4	5
⑤自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	1	2	3	4	5
⑥他校との交流を深めること	1	2	3	4	5
⑦集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	1	2	3	4	5
⑧地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に つけること	1	2	3	4	5
⑨地域の方々との交流により豊かな体験がで きること	1	2	3	4	5
⑩慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけ ること	1	2	3	4	5
<ul><li>⑪どの学年も複数の学級として、クラス替えが できるようにすること</li></ul>	1	2	3	4	5
②少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を 受けること	1	2	3	4	5
③ICT教育の環境を整備し、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること	1	2	3	4	5
4外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること	1	2	3	4	5
⑤校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化 (新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整 備 など)が図られていること	1	2	3	4	5
16人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	1	2	3	4	5

問 4 一 1	<u>問 4 の項目以</u>	<u>人外</u> で感じ	こている	ことが	あれば	ご記入	くだる	さい。
【十分に	できているこ	<i>ا</i> ا						

r	丰	+=	圳	半	が	心	亜	ti	_	上 `	١
	$\rightarrow$	1_	<b>Ŧ</b> 215	ŦX.	<i>.</i>	י עי	$\overline{z}$	<i>'</i> ~	_	_	

問5 地域における小学校の役割について、項目ごとにあてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。 ①~⑤の項目以外で学校の役割だと思うことがあれば、⑥その他にご記入ください。

項目	そう思う	やや そう思う	普通	そう 思わない	全く 思わない
①地域の歴史、文化の中核的な存在であること	1	2	3	4	5
②子どもたちとの交流ができる施設であること	1	2	3	4	5
③避難所など、地域の防災拠点であること	1	2	3	4	5
④地域社会のつながりや支えあいのセンター的存 在であること	1	2	3	4	5
⑤地域のイベント会場の場であること	1	2	3	4	5
⑥その他					

問 6 子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学びあうために、永平寺町としてどのような取組が必要か、アイデアがあれば、ご記入ください。

問7 地域による児童・学校へのサポートについて期待することは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。

※3~8は授業の中で行うことを想定しています

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
- 8. 地域の方が P TA 活動への協力の依頼があれば参加してくれること
- 9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行う こと
- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること

- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし
- 問7-1 問6の項目以外で地域に期待することがあれば、ご記入ください。

問8 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、お考えをお聞かせください。

- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい。
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う。
- 3. 小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない。
- 4. その他の意見

問 8 - 1	問8で「4.	その他の意見」	を選んだ方は、	自由にご意見をご記入ください。	

## 【小学校別の生徒数の将来推計について】

## 小学校全体

	平原	戊31年	F度				令和	口10年	度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112	
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114	
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116	
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117	
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119	
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119	
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697	

永平寺町の小学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では27%減少することが予想されています。

#### 松岡小学校

	平月	<b>戈31</b> 年	F度	令和5年度			令和	110年	度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62	
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63	
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63	
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64	
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65	
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65	
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382	

#### 吉野小学校

	平原	戊31年	F度	令和5年度			令和	110年	E度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9	
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9	
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9	
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9	
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9	
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9	
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54	

## 御陵小学校

	平月	戊31年	F度	令和5年度			令和	110年	F度				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14	
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14	
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14	
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14	
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15	
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15	
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86	

## 志比小学校

	平原	戊31年	F度	令和5年度			令和	口10年	F度	令和15年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9	
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9	
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10	
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10	
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10	
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10	
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58	

#### 志比南小学校

	平原	平成31年度 令			和5年	度	令和10年度			令和	口15年	度
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30

#### 志比北小学校

	平月	戊31年	F度	令:	令和5年度			110年	F度	令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12

## 上志比小学校

	平月	平成31年度			令和5年度			令和10年度			<b>115</b> 年	F度
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75

## 【推計方法】

住民基本台帳 (平成31年4月1日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している児童・生徒がいる ため、平成 31 年度の児童・生徒数の実数と 推計値とには差があります。 問9 将来的に児童数が減少した際に町の対応として望ましいことを項目ごとにあてはまる番号 **1つ**に〇をつけてください。

項目	希望する	やや希望	どちらで もない	あまり 希望 しない	希望 しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど)を相互に活用することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5

⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
問 9 一 1 <u>問 8 の項目以外</u> で希望することが a	られば、ご	記入くだ	さい。		
問 10 1 学級の児童数・1 学年の児童数についる <b>ぞれ</b> ご記入ください	て、あなた	が <u>最低限</u>	必要だと	思う人数	を、 <u>それ</u>
問 10 1学級の児童数・1学年の児童数について <u>ぞれ</u> ご記入ください。 1学級 最低 ( )人		が <u>最低限</u> 最低 (		<b>思う人数</b> )	
<u>ぞれ</u> ご記入ください。					
ぞれ     ご記入ください。       1学級     最低     )人					
ぞれご記入ください。       1学級 最低 ( )人					

問 11-1 その理由をご記入ください。

1学級

数・1学年の児童数を、<u>それぞれ</u>ご記入ください。

)人

問 11 児童の学習面や生活面、教員の配置や PTA 活動などから見て適正だと思う1学級の児童

1学年

(

)人

問 12 最後に、検討委員会への諮問事項である、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、並びに、これからの永平寺町の学校教育・学校選営に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
(1)望ましい教育環境のあり方について 
(2)地域と連携した学校づくりのあり方について
これからの永平寺町の学校教育・学校運営について

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

**それぞれの学校でとりまとめて、学校教育課へ2月19日(金)までに**ご提出ください。

# 永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (中学校教員用)

#### 調査ご協力のお願い

日ごろから、町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

近年、永平寺町では、少子化に伴い、地域差はあるものの、少しずつ各学校の小規模化が進んでいます。少子高齢化や高度情報化など、社会情勢の変化が教育環境にもさまざまな影響を及ぼすことが全国的に懸念されている中、町では、将来にわたって質の高い教育を維持するため、「永平寺町学校のあり方検討委員会」を設立し、永平寺町内の小中学校のあり方について、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、の2つの事項を諮問し、答申をまとめていただくこととしました。

このアンケートは、「これからの永平寺町の学校教育がどうあってほしいか」などについて、教員のみなさまのご意見を広くお聞きし、答申をまとめる際の参考とさせていただくものであり、小中学校の再編を前提に実施するものではございません。

回答はすべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解 いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 永平寺町

## 【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査は、町内中学校の全教員を対象にお送りしています。
- 2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、 それぞれの学校でとりまとめて、学校教育課へ2月19日(金)までにご提出ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆ 永平寺町教育委員会 学校教育課

電話:0776-61-3937 FAX:0776-61-3938



# ご記入者様(あなた)についてお聞きします。

問1 ご記入者様(あなた)の年齢をご記入ください。

あなた(ご記入者様)の年齢 1.20代 2.30代 3.40代 4.50代以上

問2 あなたが勤務している学校について、あてはまる番号に〇をつけてください。

8. 松岡中学校

9. 永平寺中学校

10. 上志比中学校

# 中学校についてお聞きします。

- 問3 以下の項目は、どれも重要な事項ですが、これからの中学校教育で、特に重要だと思うことは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。
  - 1. 社会のマナーやルールを身につけること
  - 2. 確かな学力*を身につけること
  - 3. 自己肯定感を高めること
  - 4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
  - 5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
  - 6. 他校との交流を深めること
  - 7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
  - 8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身につけること
  - 9. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
  - 10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
  - 11. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること
  - 12. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること
- 13. ICT 教育の環境を整備して、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育**や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること
- 14. 外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること
- 15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化(新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整備など)が図られていること
- 16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと
- 17. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること
- ※メディアリテラシー教育・・・メディアが発信する情報を読み取り、自分の意見を発信する能力を育む教育のこと
- 問3-1 <u>問3の項目以外</u>で重要視していることがあれば、ご記入ください。

問4 現在の中学校教育の各項目の達成状況について、あてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。

		だいたい	** \Z		ほとんど
項  目	できている	できてい る	普通	できてい ない	できてい ない
①社会のマナーやルールを身につけること	1	2	3	4	5
②確かな学力を身につけること	1	2	3	4	5
③自己肯定感を高めること	1	2	3	4	5
④環境や平和の大切さについて学ぶこと	1	2	3	4	5
⑤自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと	1	2	3	4	5
⑥他校との交流を深めること	1	2	3	4	5
⑦集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	1	2	3	4	5
⑧地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に つけること	1	2	3	4	5
⑨地域の方々との交流により豊かな体験がで きること	1	2	3	4	5
⑩慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること	1	2	3	4	5
⑪どの学年も複数の学級として、クラス替えが できるようにすること	1	2	3	4	5
⑩少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること	1	2	3	4	5
③ICT教育の環境を整備し、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育 (メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む)の推進を図ること	1	2	3	4	5
④外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること	1	2	3	4	5
⑤校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化 (新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整 備 など)が図られていること	1	2	3	4	5
⑥人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと	1	2	3	4	5
①部活動を通して豊かな経験をし、成長すること	1	2	3	4	5

問4-1 問4の項目以外で感じていることがあればご記入ください。

【十分にできていること】

$r \pm$	だ羽	ト 忠宗	おき	Vi.	垂	+>	_	L	1
しま	12 13	<b>). 単双</b>	ינל	אעו	罗	4	_	_	1

- 問5 地域における中学校の役割について、項目ごとにあてはまる番号<u>1つ</u>に〇をつけてください。
  - ①~⑤の項目以外で学校の役割だと思うことがあれば、⑥その他にご記入ください。

	項目	そう思う	やや そう思う	普通	そう 思わない	全く 思わない
①地域の歴史、文	化の中核的な存在であること	1	2	3	4	5
②子どもたちとの	)交流ができる施設であること	1	2	3	4	5
③避難所など、地	対の防災拠点であること	1	2	3	4	5
<ul><li>④地域社会のつな 在であること</li></ul>	がりや支えあいのセンター的存	1	2	3	4	5
⑤地域のイベント	会場の場であること	1	2	3	4	5
⑥その他						

問6 子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学びあうために、永平寺町としてどのような取組が必要か、アイデアがあれば、ご記入ください。

問7 地域による生徒・学校へのサポートについて期待することは何ですか?あてはまる番号**3つ**に〇をつけてください。

※3~8は授業の中で行うことを想定しています

- 1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
- 2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
- 3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること
- 4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
- 5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
- 6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
- 7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
- 8. 地域の方が P TA 活動への協力の依頼があれば参加してくれること
- 9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
- 1O. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと

- 11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
- 12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
- 13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
- 14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
- 15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
- 16. 特になし
- 問7-1 問6の項目以外で地域に期待することがあれば、ご記入ください。

問8 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、 多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、お考えをお聞かせください。

- 1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい。
- 2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う。
- 3. 中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない。
- 4. その他の意見

問 8 - 1	問フで	Г4.	その他の意見」	を選んだ方は、	自由にご意見をご記入	くください。	

## 【中学校別の生徒数の将来推計について】

## 中学校全体

	平原	戊31年	F度	令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377

永平寺町の中学生全体では、平成31年度(令和元年度)に比べ令和15年度では28%減少することが予想されています。

#### 松岡中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277

## 永平寺中学校

	平成31年度			令和5年度			令和	110年	F度	令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59

#### 上志比中学校

	平成31年度			令和5年度			令和	110年	F度	令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

#### 【推計方法】

住民基本台帳 (平成31年4月1日時点)を 使用したコーホート変化率法 (小学校区別を 合計して算出)

※他の学区に通学している児童・生徒がいる ため、平成 31 年度の児童・生徒数の実数と 推計値とには差があります。 問9 将来的に生徒数が減少した際に町の対応として希望することを項目ごとにあては まる番号 **1 つ**に〇をつけてください。

項目	希望する	やや 希望	どちらで もない	あまり 希望 しない	希望 しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	ω	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど)を相互に活用することでつなが りを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICTの活用含む)	1	2	3	4	5

問 9 一 1	問 8	の項目	<u>以外</u> で希!	望するこ	とがあれ	れば、こ	ご記入く	ださい	0		
問10 1 <u>れ</u> ご		<b>E徒数・</b> ごさい。	1学年の:	生徒数につ	ついて、	あなたか	ヾ <u>最低限</u>	必要だる	<u>ヒ思う人</u>	<u>数</u> を、 <u>そ</u>	<u>それぞ</u>
1学級	最低	(		)人		1学年	最低	(		)人	
問10一 1	その理	∄由をご	記入くだる	さい。							

問11-1 その理由をご記入ください。

(

1学級

**数・1学年の生徒数**を、<u>それぞれ</u>ご記入ください。

)人

問 11 生徒の学習面や生活面、教員の配置や PTA 活動などから見て適正だと思う1学級の生徒

1学年

(

) 人

問 12	最後に、検討委員会への諮問事項である、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地
	域と連携した学校づくりのあり方、並びに、これからの永平寺町の学校教育・学校運営に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
(1)	望ましい教育環境のあり方について
(2)	
これか	) らの永平寺町の学校教育・学校運営について
C1 0/3	

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

**それぞれの学校でとりまとめて、学校教育課へ2月19日(金)までに**ご提出ください。

# アンケート調査結果【参考】

## 児童・生徒が望む教育を受けられる環境について

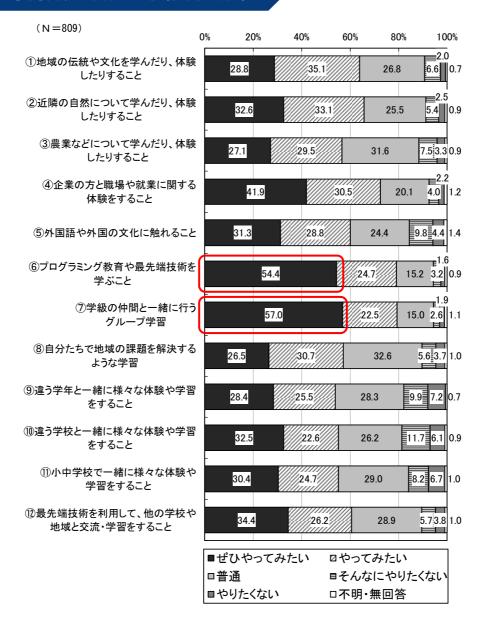
小学校や中学校に通う児童・生徒がこれから学校でやってみたいことについて、どの項目もやってみたいと考える割合(「ぜひやってみたい」と「やってみたい」の合計)が 50%を超えています。

特に、プログラミング教育や最先端技術を学ぶこと、学級の仲間と一緒に行うグループ学習については、ぜひやってみたいという回答が 50%を超えています。

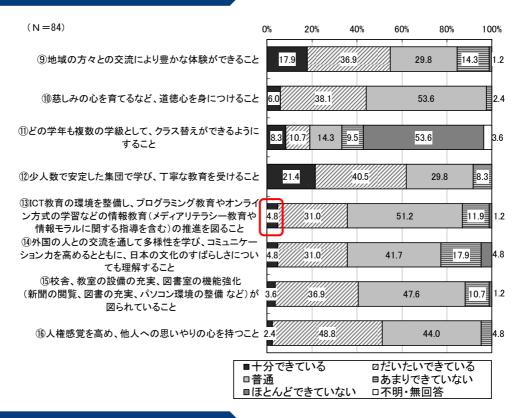
一方で、小学校教員、中学校教員の調査をみると、ICT 教育の環境の整備が十分にできているという 回答は約5~14%となっています。

子どもたちがやってみたいと考えているニーズに対し、しっかりと応えられる環境を整備していくことが重要です。

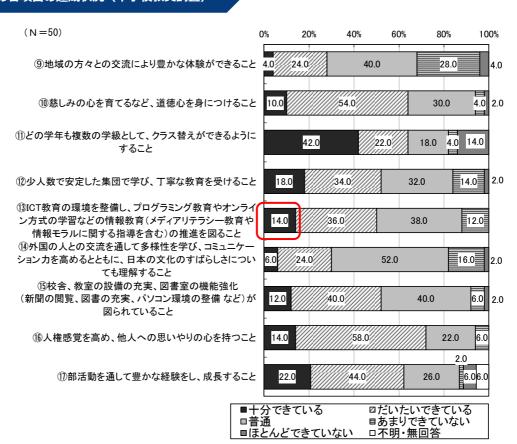
#### これから学校でやってみたいこと(小中学生調査)



#### 小学校教育の各項目の達成状況(小学校教員調査)



#### 中学校教育の各項目の達成状況(中学校教員調査)



#### 小学校との関わりで地域に期待すること

小中学生保護者、幼児園・幼稚園保護者、小学校教員のすべての調査において、小学生の子どもたちと地域の関わりについて、登下校の安全をサポートしてくれることを期待する人が多くなっています。

また、地域住民の調査において、小学校との関わりで継続的に協力できることで、登下校の安全をサポートすることという回答が 50%を超えています。



保護者、教員のニーズと地域住民にできることが一致しており、地域で子どもたちの安全をサポートしていくことが重要です。

また、小学校教員の調査では、地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれることを期待する人が 70%を超えています。

一方で、地域住民の調査において、地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援できると回答した人は 20%程度となっています。



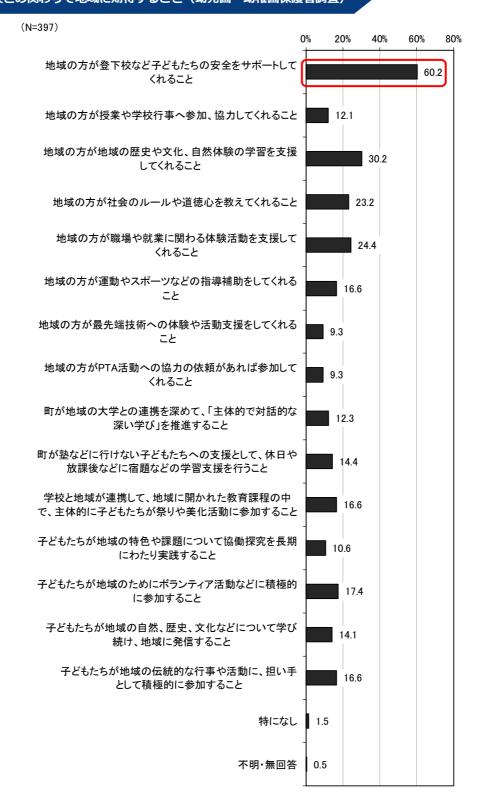
小学校のニーズに対し、地域で対応できる人が限られていることから、地域の歴史や文化、自 然体験の学習を支援できる人と学校をつなぐ取組を充実するとともに、これらの学習支援がで きる人材を育成することが重要です。

ただし、このような取組をすべて教員が担うことは、業務の増加につながり、働き方改革に逆行することになります。学校と地域をつなぐコーディネーターの存在が必要であり、そのようなシステムづくりが求められます。

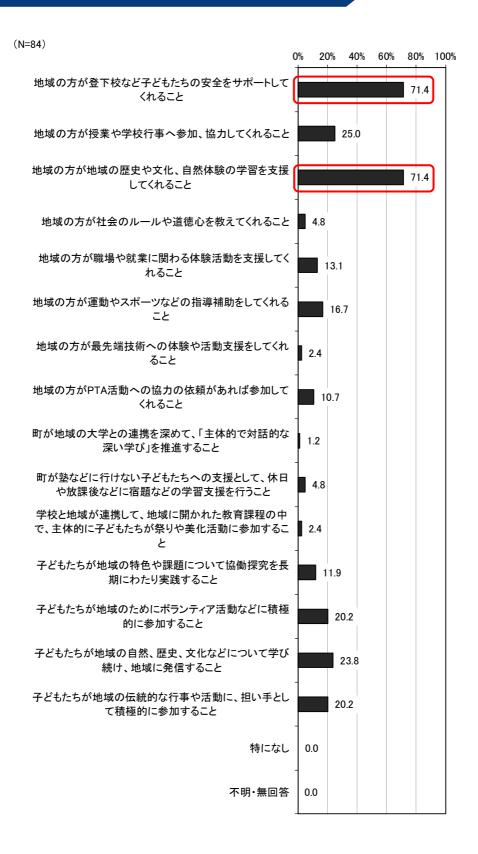
#### 小学校との関わりで地域に期待すること(小中学生保護者調査)



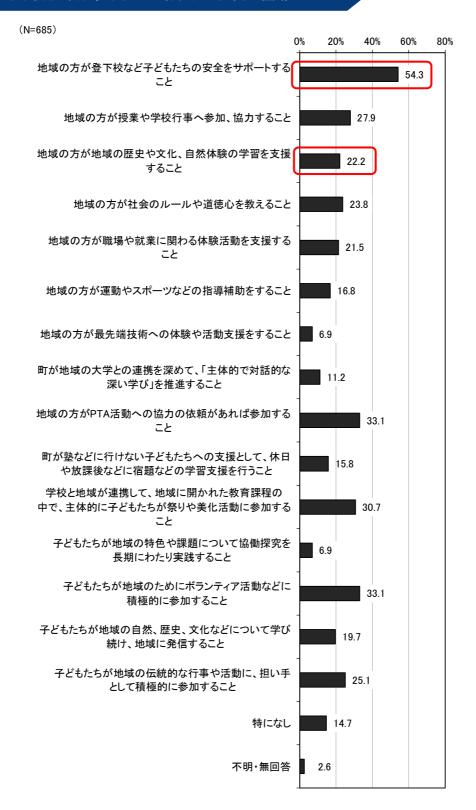
#### 小学校との関わりで地域に期待すること(幼児園・幼稚園保護者調査)



#### 小学校との関わりで地域に期待すること(小学校教員調査)



#### 小学校との関わりで地域に期待すること(地域住民)



## 中学校との関わりで地域に期待すること

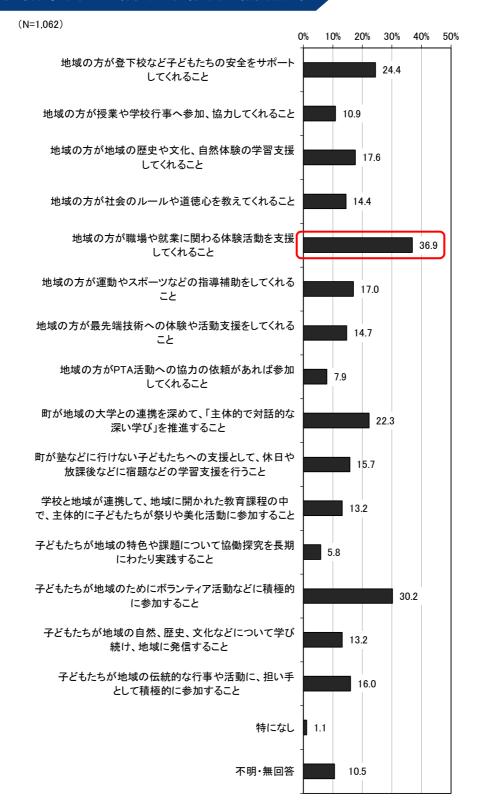
小中学生保護者、幼児園・幼稚園保護者、中学校の教員のすべての調査において、中学生の子 どもたちと地域の関わりについて、職場や就業に関わる体験活動の支援を期待する人が多くなっています。

一方で、地域住民の調査において、中学校との関わりで継続的に協力できることで、職場や就業に関わる体験活動を支援できると回答した人は 20%程度となっています。

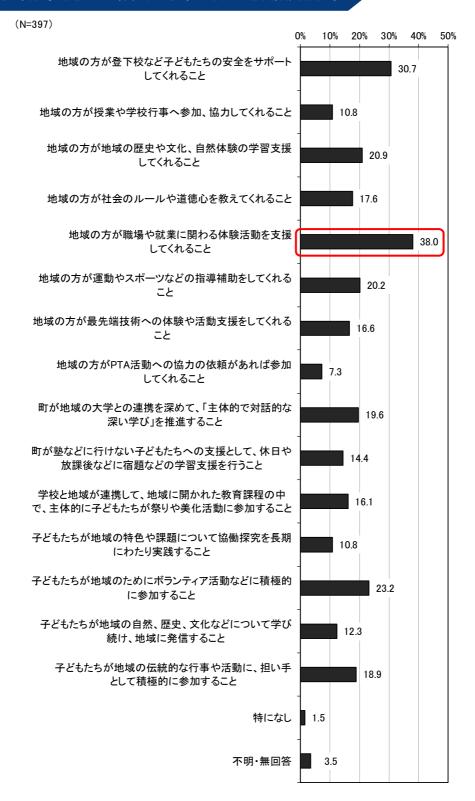
保護者や中学校のニーズに対し、地域で対応できる人が限られていることから、職場や就業に 関わる体験活動を充実するとともに、これらの支援ができる人材を発掘・育成することが重要で す。

このような取組をすべて教員が担うことは、業務の増加につながり、働き方改革に逆行することになります。学校と地域をつなぐコーディネーターの存在が必要であり、そのようなシステムづくりが求められます。

### 小学校との関わりで地域に期待すること(小中学生保護者調査)



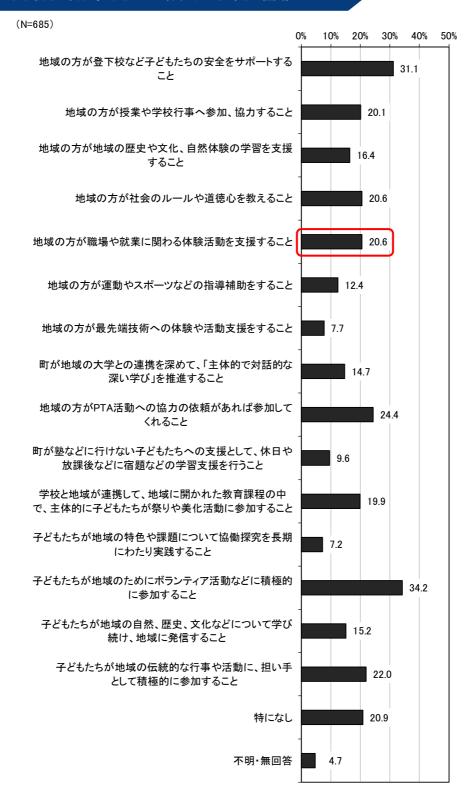
### 小学校との関わりで地域に期待すること(幼児園・幼稚園保護者調査)



### 小学校との関わりで地域に期待すること(小学校教員調査)

(N=50) 0% 20% 40% 60% 80% 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートして 26.0 くれること 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること 22.0 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援 34.0 してくれること 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること 20.0 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してく 58.0 れること 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれる 28.0 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれ 16.0 ること 地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加して 8.0 くれること 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な 4.0 深い学び」を推進すること 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日 10.0 や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中 で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加するこ 12.0 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長 10.0 期にわたり実践すること 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極 30.0 的に参加すること 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び 10.0 続け、地域に発信すること 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手とし 12.0 て積極的に参加すること 特になし 0.0 不明·無回答

### 小学校との関わりで地域に期待すること(地域住民)



# 他校との交流等について

小中学生保護者調査において、他校との交流について、他の項目と比べて満足度が低く、不満を感じる人が多くなっています。

また、小学校教員調査、中学校教員調査において、他校との交流ができていない(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)という回答が 50%を超えています。

教員・保護者ともに、町全体での交流が課題だと考えており、積極的に対応していくことが重要です。

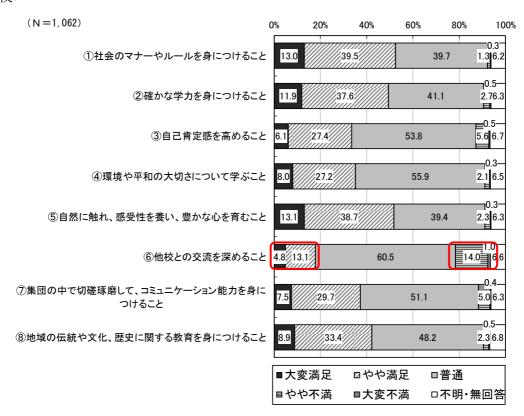
コーディネーターや人材バンク、予算的支援により町全体でカリキュラムをつくって、探究的な プロジェクト学習を協働で展開することが期待されます。

また、町内には自然、歴史、大学等、魅力的な資源・教材が豊富にあります。地域の人々は学校 に対して協力的であり、地域の教育力として大きな資本となります。

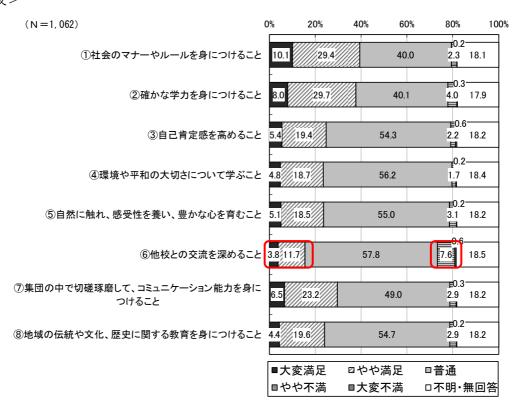
これらの地域資源、資本を活用し、旧町村のエリアを越えた取組、協働が必要です。ICT等を活用することで、地域全体で学び合いが深まるよう、今後のカリキュラムを協働で開発していくことが必要です。

#### 他校と交流について(小中学生保護者調査)

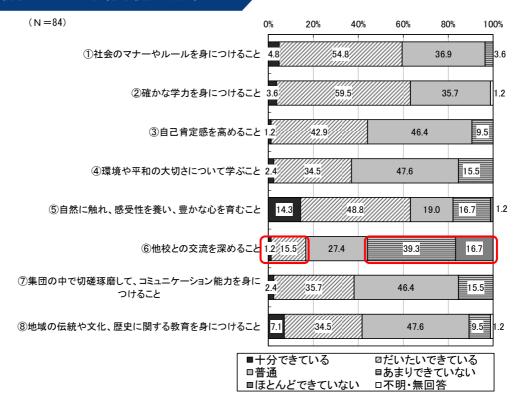
#### <小学校>



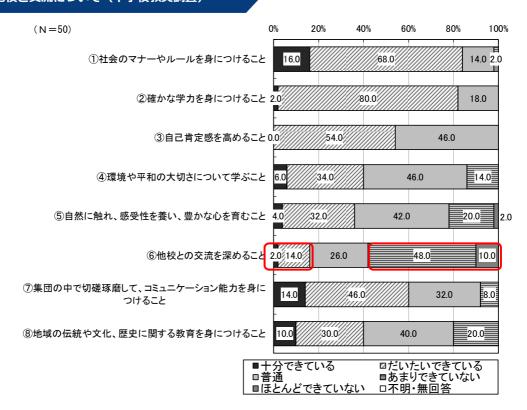
## <中学校>



### 他校と交流について(小学校教員調査)



### 他校と交流について(中学校教員調査)



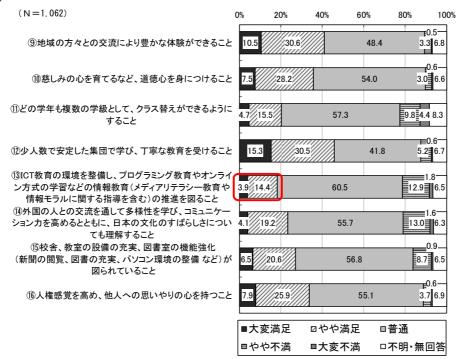
### コロナ禍への対応について

小中学生保護者調査において、ICT 教育環境の整備について満足度が低くなっており、ICT を活用し、リモートやオンライン型の授業ができる環境を整備する必要があります。

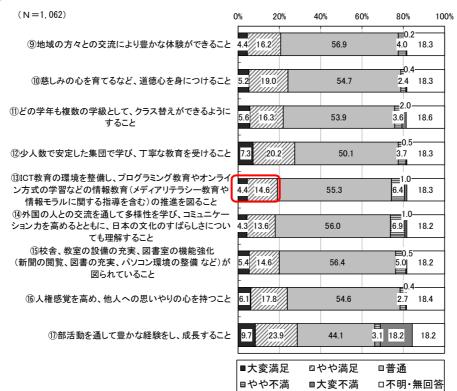


対面型の教育とのバランスが大切で、色々な状況に対応できる備えが必要です。 また、ICT の活用に当たっては、教員の研修も必要です。

## <小学校>



#### <中学校>



### 学級・学年の規模について

小学校について、1学級最低 10 人は必要で、20 人前後の人数が適正だと答える教員が多くなっています。

また、1学年の児童数について、20~30 人が適正だという回答が多く、約 60 人まで回答が 広がっていることから、1学級 20 人前後で1学年が2~3の学級から成り立つことを適正と考え る教員が多くなっています。

中学校について、1学級最低 20 人は必要で、20 人前後~30 人の人数が適正だと答える教員が多くなっています。

また、1学年の生徒数について、40~49人が適正だという回答が多く、約110人前後まで回答が広がっていることから、1学級30人前後で1学年が3~4の学級から成り立つことを適正と考える教員が多くなっています。

**V** 

このような集団だと、部活動や委員会活動が充実する、クラス替えが可能になるという意見が ありました。

こうした環境は、子どもたちの成長や学びを支えるだけでなく、多様な教員の集団の中で日々 学び続けるということは、教員の成長にとっても大切な環境です。複数の教員が学年を運営する ことで互恵的な学び合いが生まれ、教員の資質能力の向上にもつながります。

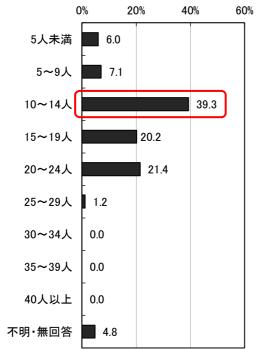
### 最低限必要だと思う児童数(小学校)について(小学校教員調査)

(N=84)

<1学級に最低必要だと思う人数>

<1学年に最低限必要だと思う人数>

(N=84)



0% 20% 60% 40% 10人未満 13.1 10~19人 41.7 20~29人 8.3 30~39人 11.9 40~49人 13.1 50~59人 2.4 60~69人 1.2 70~79人 1.2 80~89人 0.0 90~99人 0.0 100~109人 0.0 110~119人 0.0 120人以上 0.0

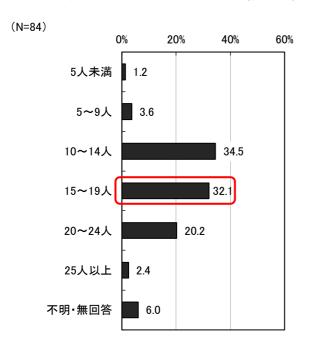
不明•無回答

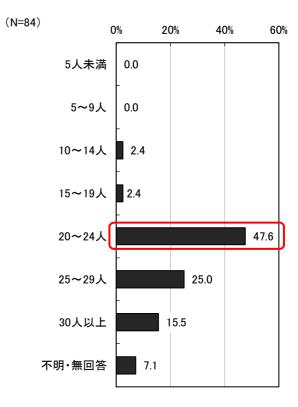
7.1

# 1学級の児童数(小学校)について(小学校教員調査)

<1学級の適正規模だと思う人数(何人~)>

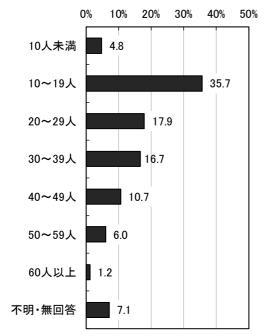
<1学級の適正規模だと思う人数(~何人)>





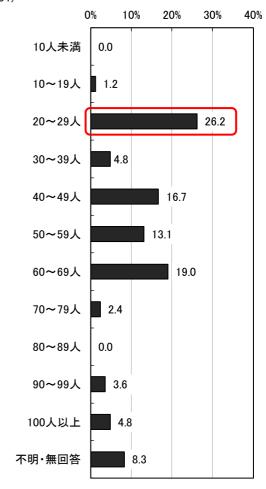
### 1学年の児童数 (小学校) について (小学校教員調査)

< 1 学年の適正規模だと思う人数(何人~)> (N=84)



<1学年の適正規模だと思う人数(~何人)>

(N=84)



### 最低限必要だと思う生徒数(中学校)について(小学校教員調査)

<1学級に最低必要だと思う人数>

<1学年に最低限必要だと思う人数>

(N=50)

0% 20% 40% 60% 80%

5人未満 2.0

5~9人 6.0

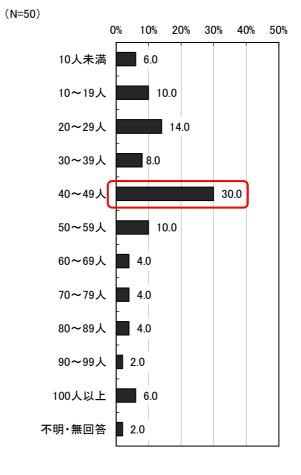
10~14人 16.0

20~24人 54.0

25~29人 10.0

30人以上 2.0

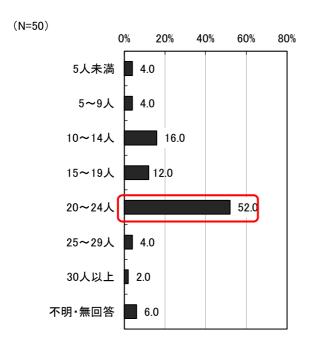
不明・無回答 0.0

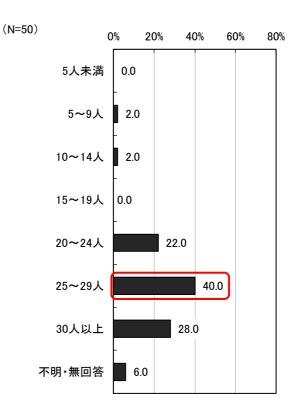


### 1 学級の生徒数 (中学校) について (中学校教員調査)

<1学級の適正規模だと思う人数(何人~)>

<1学級の適正規模だと思う人数(~何人)>

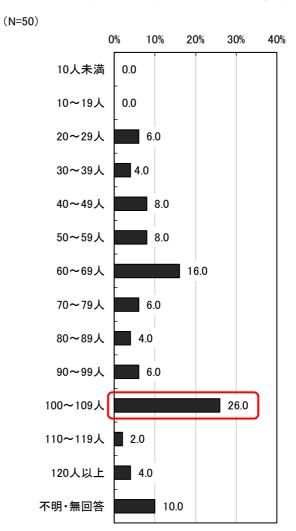




### 1 学年の生徒数 (中学校) について (中学校教員調査)

<1学年の適正規模だと思う人数(何人~)> <1学年の適正規模だと思う人数(~何人)>

(N=50) 10% 20% 30% 40% 10人未満 6.0 10~19人 2.0 20~29人 14.0 30~39人 10.0 40~49人 28.0 50~59人 8.0 60~69人 2.0 70~79人 2.0 80~89人 12.0 90~99人 6.0 100人以上 2.0 不明•無回答 8.0



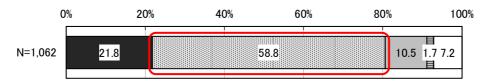
# 小学校の統合

小中学生保護者、幼児園・幼稚園保護者、地域住民、小学校の教員のすべての調査において、 ある程度の適正人数を確保するために、小学校の統廃合を仕方ないと考える人が 50%を超え ており、統廃合を必要と考える声が多くなっています。

特に幼児園・幼稚園保護者調査では、統廃合は仕方ないという回答が 65%を超えており、小中学生保護者や地域住民よりも統廃合を必要と考えていることが伺えます。

また、小学校の統合については、地域によって統廃合に対する考え方が異なっています。

#### 小学校の統廃合について(小中学生保護者調査)



- ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- □小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見
- □不明·無回答

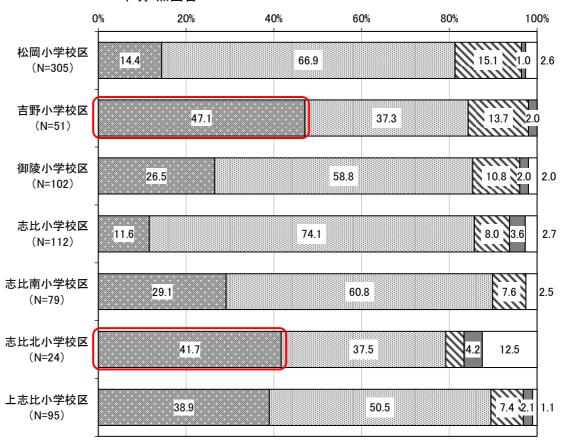
吉野小学校や志比北小学校に通う児童の保護者は、他の地域と異なり、学校の相続を希望する人が40%を超え、最も高くなっています。

また、御陵小学校や志比南小学校、上志比小学校に通う児童の保護者は、約30~40%の人が小学校の存続を希望しており、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が小さくなっています。

一方で、松岡小学校や志比小学校に通う児童の保護者は、約70%の人が統合を仕方ないと考えており、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が大きくなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない ■その他の意見

□不明・無回答

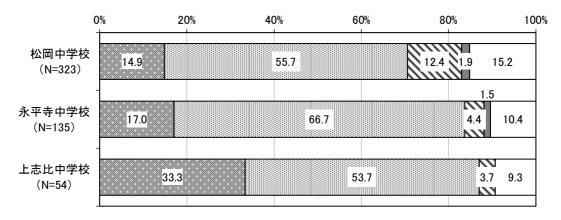


どの中学校に通う生徒の保護者も、小学校の統合を仕方ないと考える人が 50%を超えています。

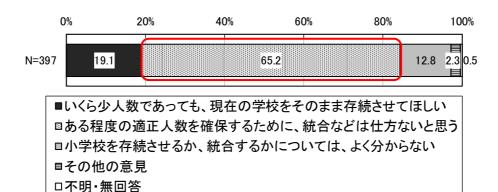
一方で、上志比中学校に通う生徒の保護者は、小学校の存続を希望する人が 30%を超えており、他の地域よりも高くなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない ■その他の意見

□不明・無回答



### 小学校の統廃合について(幼児園・幼稚園保護者調査)

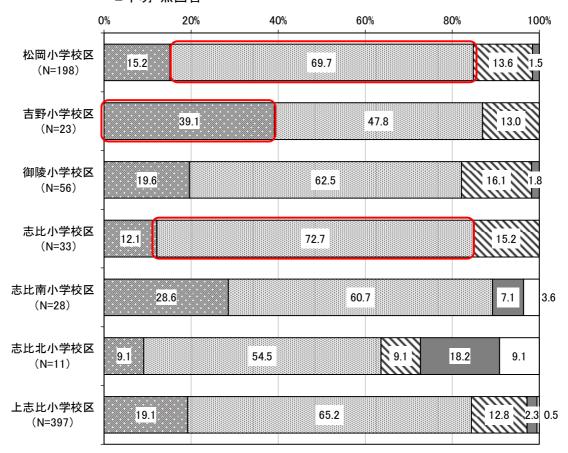


ほとんどの小学校区において、統合などを仕方ないと考える人が50%を超えています。その中でも、松岡小学校区と志比小学校区では、統合などを仕方ないと考える人が約70%と、他の地域よりも高くなっています。

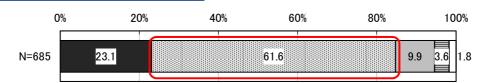
一方で、吉野小学校区は小学校の存続を希望する人が約40%と、他の地域よりも多くなって おり、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が小さくなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない

# ■その他の意見 □不明・無回答



### 小学校の統廃合について(地域住民調査)



- ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない ■その他の意見
- □不明·無回答

どの地区でも、ある程度の適正人数を確保するために、小学校の統合などは仕方ないと考える人が多くなっています。

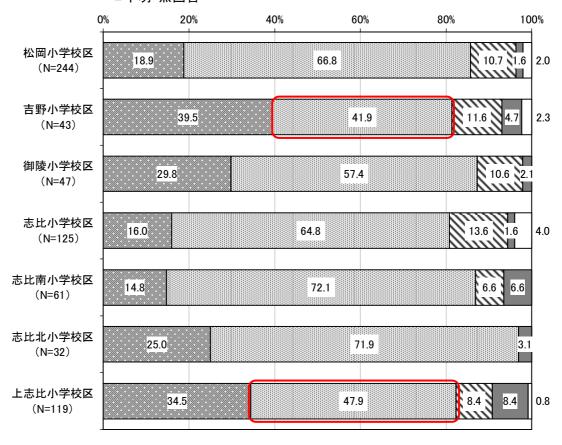
一方で、吉野小学校区、御陵小学校区、志比北小学校区、上志比小学校区では、小学校の存続を希望する人が約30~40%と、他の小学校区よりも高くなっています。

その中でも、吉野小学校区と上志比小学校区は、統合を仕方ないと考える人が 40%程度と、 他の小学校区よりも低くなっており、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の 差が小さくなっています。

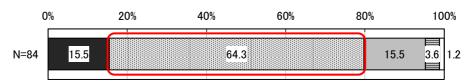
■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい

- ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- □小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見

□不明·無回答



### 小学校の統廃合について(小学校教員調査)



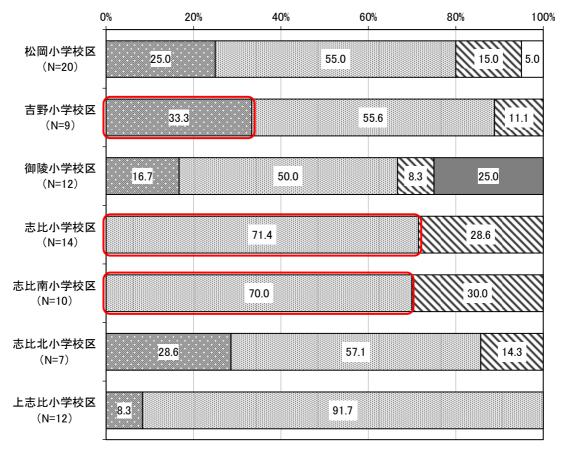
- ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない ■その他の意見
- □不明・無回答

どの小学校でも、統合などを仕方ないと考える人が50%を超えています。その中でも、志比小学校と志比南小学校では、統合などを仕方ないと考える人が約70%と、他の地域よりも高くなっているほか、小学校の存続を希望する人が見られません。

一方で、吉野小学校は小学校の存続を希望する人が30%を超え、他の地域よりも多くなっており、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が小さくなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない ■その他の意見



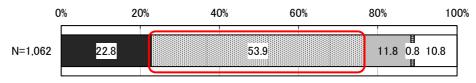


# 中学校の統合

小中学生保護者、幼児園・幼稚園保護者、地域住民、中学校の教員のすべての調査において、 ある程度の適正人数を確保するために、中学校の統廃合を仕方ないと考える人が 50%を超え ており、統廃合を必要と考える声が多くなっています。

特に幼児園・幼稚園保護者調査では、統廃合は仕方ないという回答が 65%を超えており、小中学生保護者や地域住民よりも統廃合を必要と考えていることが伺えます。

### 中学校の統廃合について(小中学生保護者調査)



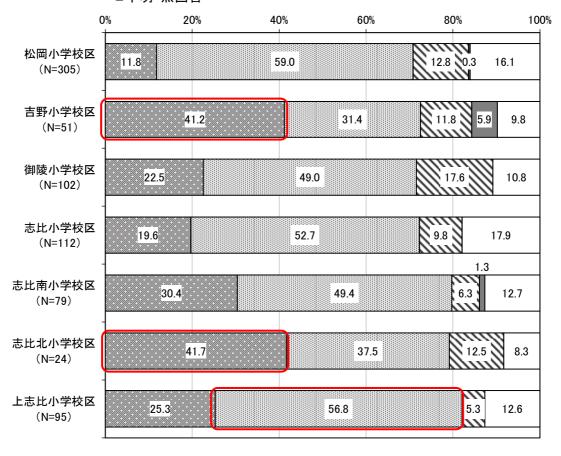
- ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
- ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- □中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見
- □不明·無回答

吉野小学校や志比北小学校に通う児童の保護者は、他の地域と異なり、中学校の存続を希望する人が40%を超え、最も高くなっています。

また、地域住民調査と比較すると、小学生保護者において上志比小学校区のみ、統合を仕方ないと考える人の割合が高くなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない ■その他の意見

□不明•無回答



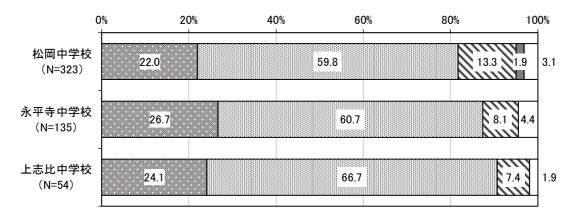
どの中学校に通う生徒の保護者も、中学校の統廃合を仕方ないと考える人が 50%を超えています。

また、どの中学校に通う生徒の保護者も中学校の存続を希望する人が 20%台となっており、 大きな差はみられません。

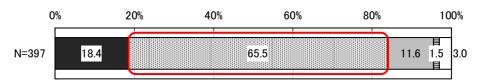
■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい□ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う□中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない

■その他の意見

□不明·無回答



### 中学校の統廃合について(幼児園・幼稚園保護者調査)



- ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見
- □不明·無回答

ほとんどの小学校区において、統合などを仕方ないと考える人が 60%を超えています。その中でも、志比小学校区と志比北小学校区では、統合などを仕方ないと考える人が 70%を超え、他の地域よりも高くなっています。

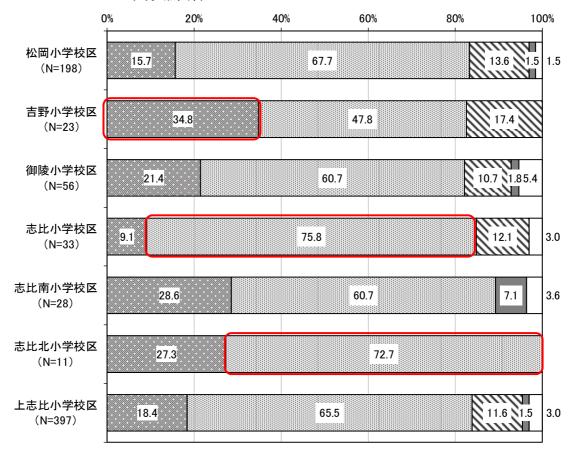
一方で、吉野小学校区は中学校の存続を希望する人が約 35%と、他の地域よりも多くなって おり、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が小さくなっています。

> ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う

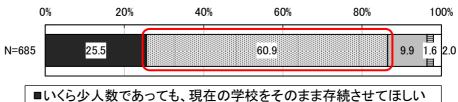
□小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない

■その他の意見

□不明·無回答



### 中学校の統廃合について(地域住民調査)



- ■いくら少人数であっても、現在の子校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う ■中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見
- □不明・無回答

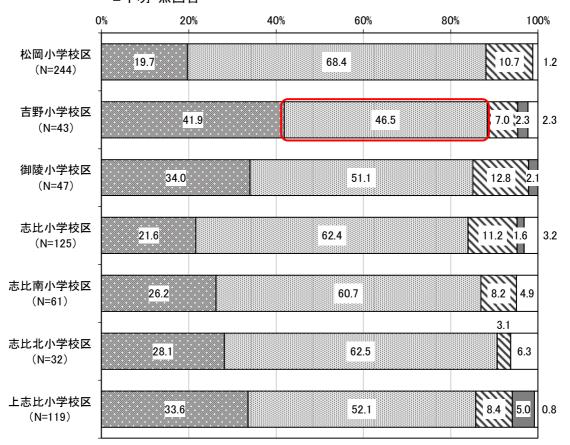
どの地区でも、ある程度の適正人数を確保するために、中学校の統合などは仕方ないと考える人が多くなっています。

一方で、吉野小学校区、御陵小学校区、上志比小学校区では、中学校の存続を希望する人が 30%を超えており、他の小学校区よりも高くなっています。

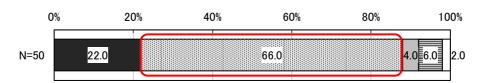
その中でも、吉野小学校区は、統合を仕方ないと考える人が約40%と、他の小学校区よりも低くなっており、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が小さくなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う■中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない■その他の意見

#### □不明・無回答



#### 中学校の統廃合について(中学校教員調査)



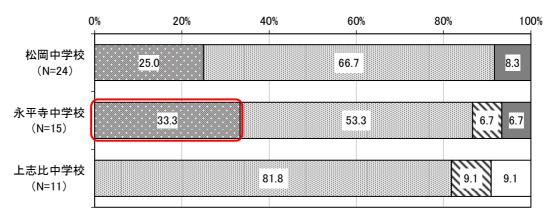
- ■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- □中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見
- □不明・無回答

どの中学校教員でも、統合などを仕方ないと考える人が 50%を超えています。その中でも、 上志比中学校では、統合などを仕方ないと考える人が約 80%と、他の中学校よりも高くなって いるほか、中学校の存続を希望する人が見られません。

一方で、永平寺中学校は中学校の存続を希望する人が 30%を超え、他の地域よりも多くなっ ており、統合を仕方ないと考える人と存続を希望する人の割合の差が小さくなっています。

■いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい

- ■ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
- ■小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
- ■その他の意見
- □不明•無回答



### 高校生について

学校の規模についてはちょうど良かったという回答が多くなっていますが、地域によって傾向 に違いがみられました。

少人数教育により、きめ細かな教育を受けることができた、すぐに友達になり、他の学年とも 交流することができたという声が多くみられました。



少人数教育という環境だけでなく、豊かな自然環境の中で成長できた、地域との交流や社会 学習が充実していた、スキー教室をはじめ他の学校ではできないことができたという声も多くみ られ、故郷を思う気持ちが強く、自分が住んでいる地区への愛着が深いこともうかがえました。

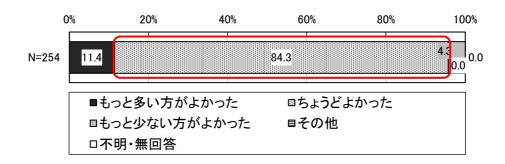


教育について、永平寺町という大きいエリアでの学びや相互交流を増やすと良いという意見 が見られました。また、宿題に苦労したという声も多くみられました。

基礎基本の定着として必要なことではありますが、教員主導の知識の詰め込み、反復による教育だけでなく、自律的な学びが重要です。

基礎基本とのバランスのもと、個別最適化の教育、探究的な学び、協働の学びを推進していくことが必要です。

### 通っていた小学校の1学級あたりの児童数について(高校生調査)



どの中学校においても、自分の通っていた小学校の1学級あたりの児童数をちょうどよかったと考える人が70%を超えています。

その中で、上志比中学校では、児童数がもっと多い方がよかったと考える人が25.7%となっており、他の中学校よりも10ポイント以上高くなっています。また、他の中学校と異なり、もっと少ない方がよかったという回答が見られません。

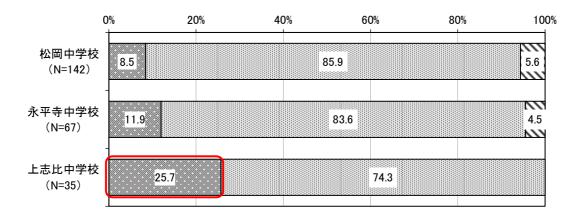
■もっと多い方がよかった

■ちょうどよかった

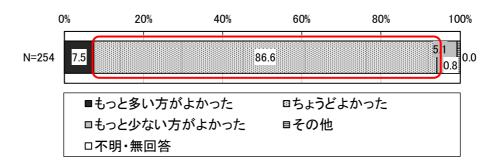
■もっと少ない方がよかった

■その他

□不明・無回答



### 通っていた中学校の1学級あたりの児童数について(高校生調査)



どの中学校においても、自分の通っていた中学校の1学級あたりの生徒数をちょうどよかったと考える人が70%を超えており、特に松岡中学校と永平寺町学校では約90%となっています。その中で、上志比中学校では、児童数がもっと多い方がよかったと考える人が22.9%となっており、他の中学校よりも15ポイント以上高くなっています。

■もっと多い方がよかった

■ちょうどよかった

□もっと少ない方がよかった

■その他

□不明・無回答

